VGP-WKB1

Wireless Keyboard
VGP-WKB1

取扱説明書 / Operating Instructions / Mode d’emploi
/ Bedienungsanleitung

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4〜7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

故障したら使わない

すぐにVAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- **煙が出たら**
- **異常な音、においがしたら**
- **内部に水、異物が入ったら**
- **製品を落としたりキャビネットを破損したときは**

→

❶ **コンピュータの電源を切る**
❷ **USBケーブルを抜く**
❸ **VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

行為を禁止する記号


禁止


水ぬれ禁止


分解禁止


接触禁止

行為を指示する記号


指示

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

目次

JP

⚠警告 下記の注意事項を守らないと死亡や大けがの原因となります。

乾電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

乾電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因となることがあります。そのときに異常がなくても、液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

接触禁止

必ず次の処理をする

- 液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
- 液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で十分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

指示

乾電池は乳幼児の手の届かない所に置く

乾電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

禁止

乾電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水で濡らさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

キーボードを使いすぎない

キーボードやマウスなどを長時間継続して使用すると、腕や手首が痛くなったりすることがあります。
キーボードやマウスなどを使用中、体の一部に不快感や痛みを感じたときは、すぐに本機の使用をやめて休息してください。万一、休息しても不快感や痛みがとれないときは医師の診察を受けてください。

禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**故障**の原因となります。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

上記のような場所で使うと、故障の原因となります。



禁止

分解や改造をしない

故障の原因となります。内部の点検や修理はVAIOカスタマーリンク修理窓口にご依頼ください。



分解禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると故障の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。



水ぬれ禁止

⚠注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**物品**に**損害**を与えたりすることがあります。

指定以外のコンピュータに使わない

故障の原因となることがあります。



禁止

安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。



禁止

コード類は正しく配置する

コード類は足に引っかけたりして引っぱると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、十分注意して接続・配置してください。



禁止

⚠注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離して使用する

電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

禁止

本機を病院などの医療機関内、医療用電気機器の近くに設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

航空機内で使用しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

他の機器に電波障害を引き起こす場所に設置しない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

禁止

オプティカルマウス底面の赤い光を直接見ない

マウス底面から発せられる赤い光を直接見ると、目を傷める場合がありますので、避けてください。

禁止

市販のアルカリまたはマンガン乾電池（単三形）以外の乾電池を使わない、新しい乾電池と使用した乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

乾電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

禁止

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして乾電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。



指示

使い切ったときや、長時間使用しないときは、乾電池を取り出す

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。



指示

キーボード使用時に折りたたみ部分に指を入れない

折りたたみ部分のすきまに指をはさみ、けがの原因となることがあります。



禁止

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

電波法に基づく認証について

本製品は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
認証機器名：VGP-WKB1/J、VGP-WMS1（レシーバーは内蔵モジュールで認証を受けています）
ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- 本製品を分解／改造すること（レシーバーについては内蔵モジュールを分解／改造すること）
- 本製品の底面に貼ってある証明ラベルをはがすこと

また、本製品は国内専用です。各国の電波法の関係で、海外などではご使用できません。

- VAIO はソニー株式会社の商標です。
- MicrosoftおよびWindowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。
- 本書ではMicrosoft® Windows® XP Home EditionおよびMicrosoft® Windows® XP ProfessionalをWindows XPと記載しています。

お使いになる前に

本製品は、ソニー製コンピュータ バイオのうち、Windows XPモデル専用のワイヤレスキーボードです（ただしPCV-LXシリーズを除く）。他のコンピュータではお使いになれません。

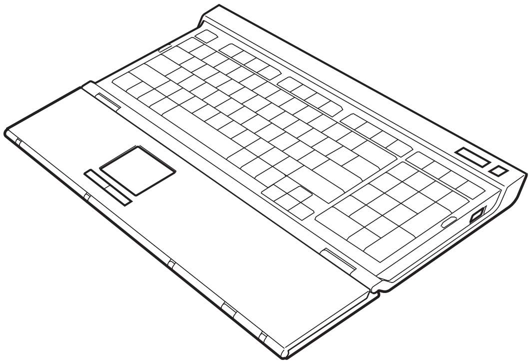
ご注意

ワイヤレスキーボード・マウスのレシーバーが内蔵されているコンピュータで本製品をお使いになる場合は、本製品に付属のレシーバーをコンピュータに接続してお使いください。

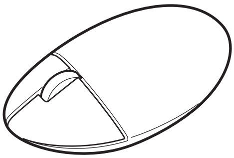
付属品を確かめる

梱包箱から取り出したら、以下の付属品がそろっているか確認してください。万一、不足しているものや、破損しているものがあるときは、VAIOカスタマーリンクにご連絡ください。

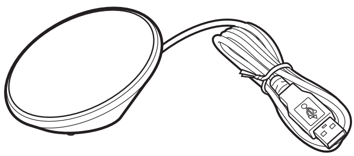
- ポインティングデバイス付ワイヤレスキーボード（以降、キーボードと略します）（1）



- ワイヤレスマウス（以降、マウスと略します）（1）



- レシーバー（1）



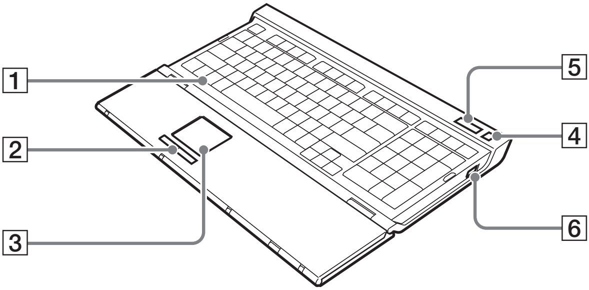
- 単3形（R6）マンガン乾電池（6）
- 取扱説明書（本書）（1）
- 保証書（1）

各部のなまえ

キーボード*

*お使いの国により、キーの配置・表記が異なる場合があります。

表面



1 **Windows（ウィンドウズ）キー**
Windowsの「スタート」メニューが表示されます。

2 **左／右ボタン**
マウスの左／右ボタンに相当します。

3 **ポインティングデバイス**
画面上のマウスポインタを操作して、クリックしたり、ドラッグしたりすることができます。

4 **スタンバイボタン**
本機の電源が入っているときに押すと、スタンバイモードに切り換わります。再び押すと、スタンバイモードから復帰します。

5 **各種インジケーター**

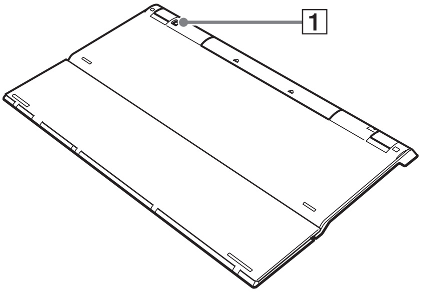
- バッテリインジケーター
キーボードの乾電池の残量が充分な場合は▭が、残り少ない場合は▭が表示されます。
- Num Lock（ナム・ロック）インジケーター
Num Lock（ナム・ロック）が有効になっている場合に表示されます。
- Caps Lock（キャプス・ロック）インジケーター
Caps Lock（キャプス・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

次のページにつづく

- Scroll Lock（スクロール・ロック）インジケーター
  Scroll Lock（スクロール・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

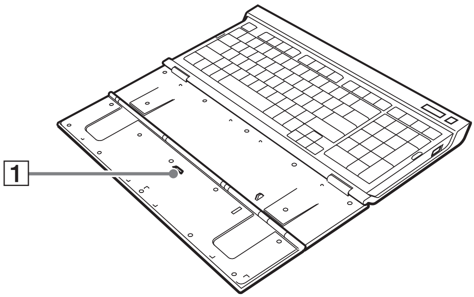
6 POWER（**電源）スイッチ**
キーボードの電源をON/OFFします。

裏面



1 CONNECT（**コネクト）ボタン**
キーボードとレシーバーを接続するときに使用します。

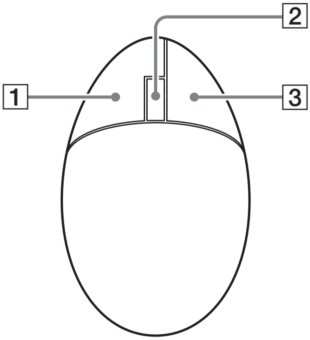
パームレストを開いた状態



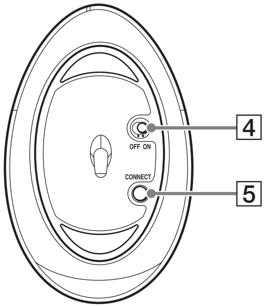
1 POINTING DEVICE（**ポインティングデバイス）スイッチ**
ポインティングデバイスのON/OFFを切り換えます。

マウス

表面



裏面



1 **左ボタン**

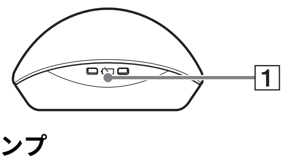
2 **ホイールボタン**

3 **右ボタン**

4 ON/OFF **（電源）スイッチ**
マウスの電源をON/OFFします。

5 CONNECT **（コネクト）ボタン**
マウスとレシーバーを接続するときに使用します。

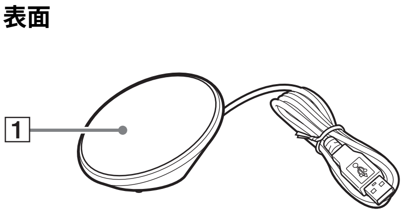
後部

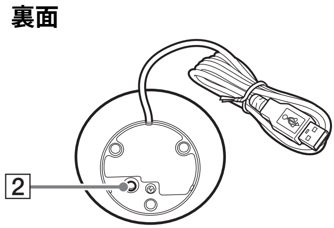


1 **ローバッテリーランプ**
マウスの乾電池の残量が充分でない場合に点滅します。

次のページにつづく

レシーバー





1 **受光部**

2 CONNECT **（コネクト）ボタン**

キーボードやマウスと接続するときに使用します。

準備する

ご注意

乾電池の使いかたを誤ると、液もれや破損のおそれがあります。次のことを必ず守ってください。

- ＋と－の向きを正しく入れてください。
- 新しい乾電池と使った乾電池、または種類の違う乾電池を混ぜて使わないでください。
- 乾電池は充電しないでください。
- 長い間キーボードやマウスを使わないときは、乾電池を取り出してください。
- 乾電池が液もれしたときは、乾電池入れについた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 市販の充電式電池には対応していませんので、通常の乾電池をお使いください。充電式電池を使用した場合、液もれによるけがや故障につながることがあります。

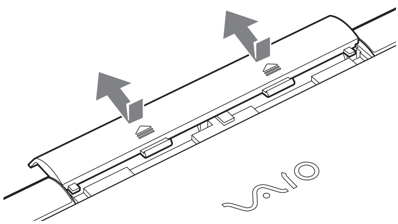
ちょっと一言

乾電池の残量はバッテリインジケーターやローバッテリーランプで確認し、少なくなっていたら新しい乾電池と交換してください。
また、キーボードやマウスを使用しないときは電源スイッチをOFFにすると乾電池の寿命を延ばすことができます。

キーボードに乾電池を入れる

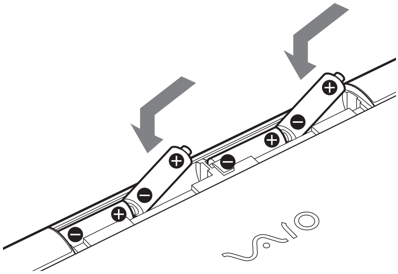
1 キーボードのPOWER（電源）スイッチをOFFにする。

2 キーボード裏側のカバーを開ける。



次のページにつづく

3 **⊕と⊖の方向を確かめて、付属の単3形（R6）マンガン乾電池または単3形（R6）アルカリ乾電池（別売）を4本入れる。**

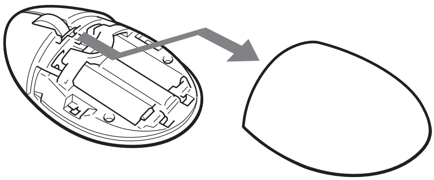


4 **カバーを閉める。**

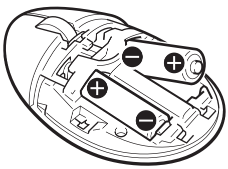
マウスに乾電池を入れる

1 **マウスのON/OFF（電源）スイッチをOFFにする。**

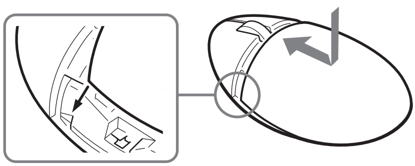
2 **マウスの乾電池カバーを開ける。**



3 **⊕と⊖の方向を確かめて、付属の単3形（R6）マンガン乾電池または単3形（R6）アルカリ乾電池（別売）を2本入れる。**

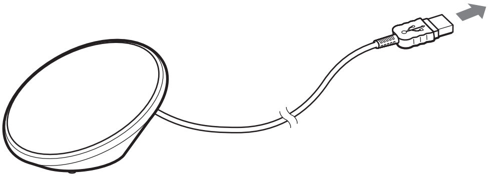


4 **乾電池カバーを閉める。**



レシーバーをコンピュータに接続する

レシーバーをレシーバーケーブルでコンピュータに接続します。



レシーバーをはじめてコンピュータに接続したとき

Windowsが標準で持つUSB機器用ドライバが自動的にインストールされます。

ご注意

- USB機器用ドライバは、使用するUSBコネクタごとにインストールされます。いったんインストールが終わった後でも、レシーバーを別のUSBコネクタに接続した場合、前回と同様にドライバのインストールが開始します。
- 外部USBハブにレシーバーを接続しないでください。

レシーバーとキーボード・マウスを接続する

ご注意

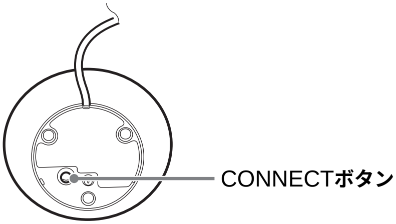
レシーバーとキーボードの距離は仕様範囲の距離内でご使用ください。

1. **キーボードのPOWER（電源）スイッチをONにする。**
2. **キーボードのPOINTING DEVICE（ポインティングデバイス）スイッチをONにする。**
3. **マウスのON/OFF（電源）スイッチをONにする。**

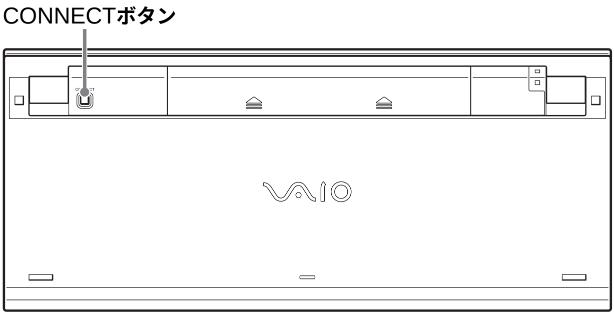
次のページにつづく

4 **レシーバーのCONNECTボタンを押す。**

約10秒間、レシーバーがキーボードやマウスを認識できる状態になります。



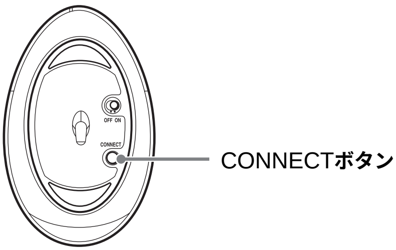
5 **キーボードのCONNECTボタンを押す。**



キーボードとの接続が開始します。

6 **再度レシーバーのCONNECTボタンを押す。**

7 **マウスのCONNECTボタンを押す。**



マウスとの接続が開始します。

ご注意

お近くで本製品と同じ製品が使われていると、キーボード・マウスとレシーバーとを接続する際に、誤認識する場合があります。接続するタイミングをずらすか十分距離をとって接続してください。

キーボード・マウスの使用をやめるときは

キーボードやマウスの使用をやめるときは、レシーバーケーブルをコンピュータのUSBコネクタから抜いてください。
レシーバーケーブルは、コンピュータの電源が入っているときでも抜き差ししてかまいません。このとき、キーボードやマウスの電源スイッチをOFFにすると乾電池の消耗を防ぐことができます。

正常に接続されたことを確認する

レシーバーをつないだ状態で行います。

1 **キーボードの**Windows（**ウィンドウズ**）**キーを押して、「スタート」メニューが表示されることを確認する。**

2 **ポインティングデバイスに触れて、画面上のポインタが同じ方向に動くことを確認する。**

3 **マウスを動かして、画面上のポインタが同じ方向に動くことを確認する。**

上記のようにポインタの動作確認ができない場合は、キーボード・マウスとレシーバーが正常に接続されていません。「レシーバーとキーボード・マウスを接続する」（17ページ）の手順を再度行ってください。

ワイヤレスキーボードを使う

キー	機能
☾（スタンバイ）ボタン	キーボードの電源がONのときに押すと、スタンバイモードに切り替わります。再び押すとスタンバイモードから復帰します。
Fn+NumLk	ScrLk（スクロール・ロック）キーとして働きます。使用するソフトウェアによって働きが異なります。詳しくは各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。
Fn+↑	PgUp（ページアップ）キーとして働きます。現在表示している画面の前のページを表示します。
Fn+→	End（エンド）キーとして働きます。行またはページの最後に移動します。
Fn+↓	PgDn（ページダウン）キーとして働きます。現在表示している画面の次のページを表示します。
Fn+←	Home（ホーム）キーとして働きます。行またはページの先頭に移動します。
Fn+F2	消音ボタンとして働きます。
Fn+F3	音量を下げるボタンとして働きます。
Fn+F4	音量を上げるボタンとして働きます。

ご注意

Fnキーで音量調節したときは、ディスプレイに変更内容は表示されません。変更を確認する場合は、［Volume Control］または［ボリューム コントロール］で確認してください。

ヒント

PCV-Vシリーズ、VGC-Vシリーズのみ追加キーがあります。

- Fn+F5　ディスプレイの明るさを下げるボタンとして働きます。
- Fn+F6　ディスプレイの明るさを上げるボタンとして働きます。

追加キーを使用するには、ディスプレイの輝度を調整するソフトウェアをダウンロードする必要があります。ソフトウェアは、バイオカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp）よりダウンロードすることができます。詳しくは、「製品別サポート情報」より本製品の情報をご覧ください。

インジケーター	機能
／ （バッテリ）インジケーター	キーボードの乾電池の残量が充分な場合はが、残り少ない場合はが表示されます。 が点滅しているときは、乾電池の残量が充分ある状態でキーボードとレシーバーの接続が切れています。 が点滅しているときは、乾電池の残量が残り少ない状態でキーボードとレシーバーの接続が切れています。 とが点滅しているときは、キーボードとレシーバーが接続中です。
Num Lock（ナム・ロック）インジケーター	Num Lock（ナム・ロック）が有効になっている場合に表示されます。
Caps Lock（キャプス・ロック）インジケーター	Caps Lock（キャプス・ロック）が有効になっている場合に表示されます。
Scroll Lock（スクロール・ロック）インジケーター	Scroll Lock（スクロール・ロック）が有効になっている場合に表示されます。

インジケーターがすべて表示・点滅しているときは

インジケーターがすべて表示されているときは、キーボードを初期化している状態です。
インジケーターがすべて点滅しているときは、レシーバーとの接続に失敗した状態です。

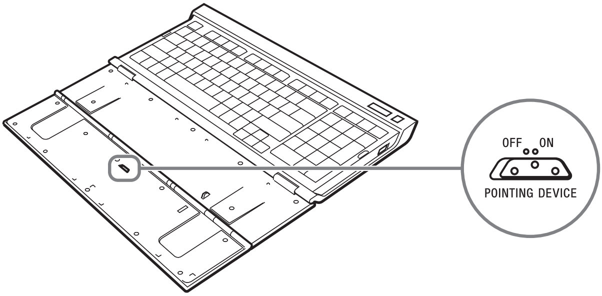
ご注意

- キーボードを20分以上使用しないでいると、インジケーターの表示が消え、キーボードとレシーバーの接続が切れていることがあります。その場合、Fnキーを押し、またはが表示されるのを確認してからお使いください。
- スタンバイモードからの復帰について
  デスクトップコンピュータをお使いの場合：
  スタンバイモードから復帰する際は、（スタンバイ）ボタンを押したあとにインジケーターが表示されていることを確認してください。インジケーターが表示されない場合は、再度（スタンバイ）ボタンを押してください。
  ノートブックコンピュータをお使いの場合：
  スタンバイモードからから復帰する際は、お使いのノートブックコンピュータのキーを押してください。

次のページにつづく

ポインティングデバイスを使う

キーボードのポインティングデバイスを使うには、パームレストを開いてPOINTING DEVICE（ポインティングデバイス）スイッチをONにします。



ポインティングデバイスに触れて指を動かすと、画面上のポインタも同じ方向に移動します。
画面上のポインタを操作して、以下の操作などが行えます。

クリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、ポインティングデバイスの手前にある左ボタンを1回押します。［OK］や［キャンセル］などのボタンをクリックしたり、メニューを選ぶときなどにも使います。
また、ポインティングデバイスを指で1回軽くたたいても同じ働きをします。

ダブルクリックする

ポインタを希望の位置に合わせて、左ボタンを2回続けて押します。
ワードプロセッサや表計算などのソフトを実行したり、作成した文書などのファイルを開くときなどに使います。
また、ポインティングデバイスを2回続けて軽くたたいても同じ働きをします。

右クリックする

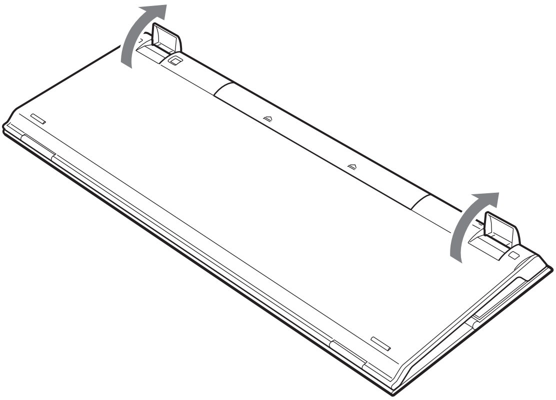
ポインタを希望の位置に合わせて、右ボタンを1回押します。
押したときのポインタの位置によって、さまざまな内容のポップアップメニューが表示されます。

ご注意

- 本製品のポインティングデバイスは、圧力を感知して作動します。反応が鈍いと感じたら、やや強く押してください。
- 本製品のポインティングデバイスは、カーソルの移動と左右ボタンの操作ができます。スクロールなどの機能は使用できません。

キーボードの足を立てる

キーボードの足を立てると、キーボードを使うときキーを打ちやすくなります。



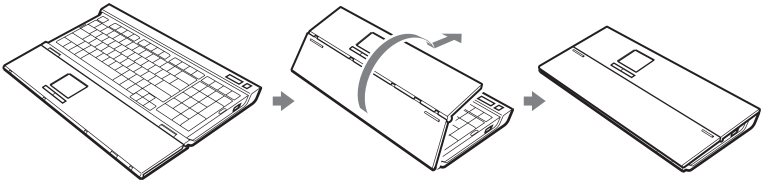
ご注意

キーボードの足を開閉するときに、つめを折らないようご注意ください。

次のページにつづく

パームレストについて

パームレストを手前に折りたたむと、キーボードを使うとき手首に負担がかかりにくくなります。
パームレストは、キーボードを使わないときにキーボードの上にかぶせると、ふたとして使うことができます。

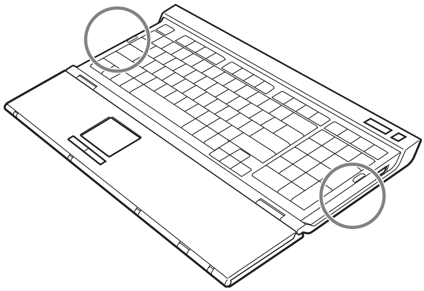


ヒント

パームレストをキーボードの上にかぶせた状態でも、ポインティングデバイスを使うことができます。

ご注意

- パームレストを無理に逆回転させないでください。
- 机のような平らなところでキーボードを使用するときは、パームレストがはみ出ないよう設置してください。
- キーボードを持ち運ぶときは、パームレストを持たずにキーボード本体を両手で持ってください。



ワイヤレスマウスを使う

マウスを動かすと、その動きに合わせて画面上のポインタも同じ方向に移動します。ここではマウスの基本的な使いかたとホイールボタンの使いかたについて説明します。

ご注意

光学式マウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影を光学式センサーで検知し、マウスの動きを判断しています。

次のような表面では正しく動作しない場合があります。

- 透明な素材（ガラスなど）
- 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など）
- 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など）
- 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの

ポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面でマウスを操作してみてください。

ポインタの速度を調整する

下記の手順で、ポインタの速度を調整できます。

1 **［スタート］ボタンをクリックし、［コントロール パネル］、［プリンタとその他のハードウェア］、［マウス］、［ポインタ オプション］の順にクリックする。**

2 **速度調整の項目で、必要な調整を行う。**

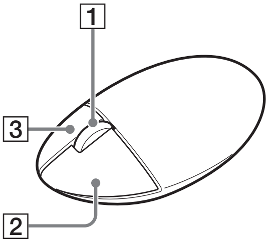


次のページにつづく

ご注意

- 速度調整を行う画面の表示は、使用しているコンピュータの機種によって異なることがあります。
- ポインタの速度が調整できないときは、VAIOカスタマーリンクのホームページ（http://vcl.vaio.sony.co.jp/）にある「製品別サポート情報」より本製品の情報をご確認ください。

基本的な使いかた



1 ホイールボタン

ホイールボタンを使用すると、ウィンドウのスクロールバーをクリックしてスクロールするより楽にスクロール操作ができます。また、ホイールボタンを押すとオートスクロール機能を使うことができます。

2 左ボタン

作成した文書や画像ファイルなどを開いたり、使用するソフトウェアを選ぶときに押します。マウスを使うときは主にこのボタンを使用します。

3 右ボタン

作成した文書や画像ファイルなどをコピーしたり、ファイルの詳細を見るなど、さまざまな操作や設定をすぐに行えるショートカットメニューを表示するときに押します。

使用上のご注意

キーボード・マウスの操作距離について

キーボード・マウスの最長接続可能距離は、レシーバーから10 m以内とされています。しかし使用環境によっては、電波の到達距離が極端に短くなり、正常に動作しないことがあります。

本製品が正常に動作しないときは、下記の環境で使用するようにしてください。

- コンピュータやディスプレイなどの電子機器から20 cm以上離す。
- キーボードやマウスにより近い位置にレシーバーを設置する。
- マウスパッドを使用する。

ポインティングデバイスの操作感について

お使いのコンピュータに搭載されているポインティングデバイスと操作感が異なる場合があります。

使用・保管場所について

湿気の多いところや温度の高いところ、激しい振動のあるところ、直射日光の当たるところで使用したり保管しないでください。

操作について

- 本機は水平な場所に置いて使用してください。
- 急激な温度変化は避けてください。寒いところから暖かいところに移したり、室温を急に上げた直後は使わないでください。内部に結露が生じている場合があります。

キーボードの持ち運びについて

キーボードを持ち運ぶときは、パームレストを折りたたんで持ち運んでください。

パームレストだけを持たないようにしてください。

異常や不具合が起きたら

万一、異常や不具合が起きたとき、異物が中に入ったときは、VAIOカスタマーリンク修理窓口に修理をご依頼ください。

お手入れ

表面のゴミやほこりなどは、乾いた布で軽く拭き取ってください。

ご注意

- 本機を掃除するときは、必ずコンピュータから取りはずしてください。
- 濡れたもので本機を拭かないでください。内部に水が入ると故障の原因となります。
- アルコールやシンナーなど揮発性のものは、表面の仕上げを傷めますので使わないでください。化学ぞうきんを使うときはその注意書に従ってください。
- お手入れするときは、必ず乾電池を取り出してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げ店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この取扱説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはVAIOカスタマーリンクへご連絡ください

VAIOカスタマーリンクについては、保証書をご覧ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。ただし、保証期間内であっても、有償修理とさせていただく場合がございます。

詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

修理について

当社では本製品の修理は引取修理を行っています。

当社指定業者がお客様宅に修理機器をお引き取りにうかがい、修理完了後にお届けします。詳しくは、VAIOカスタマーリンクへご連絡ください。

修理用補修部品について

ソニーでは、長期にわたる修理部品のご提供、ならびに環境保護などのため、修理サービスご提供の際に、再生部品を使用することがあります。

また原則として交換した部品は、上記の理由によりソニーの所有物として回収させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

部品の保有期間について

当社では本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、VAIOカスタマーリンク修理窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

- **型名：**VGP-WKB1/J
- **製造番号：キーボード底面に記載されています。**
- **故障の状態：できるだけ詳しく**
- **購入年月日：**

主な仕様

ワイヤレスキーボード

インターフェース
デジタル無線通信方式

キーピッチ
19.05 mm

キーストローク
3 mm

電源電圧
DC 6 V（単3形（R6）マンガン乾電池4本使用）

周波数帯
2.4 GHz

入力デバイス
ポインティングデバイス、キーボード

通信距離
見通し距離最長10 m

質量
約1130 g（乾電池含む）

外形寸法
約400（幅）× 31（高さ）× 173（奥行き）mm
（パームレスト閉め時）
約400（幅）× 25（高さ）× 249（奥行き）mm
（パームレスト開き時）

ワイヤレスマウス

インターフェース
デジタル無線通信方式

読み取り方式
光学式

センサー分解能
800カウント（1インチあたり）

電源電圧
DC 3 V（単3形（R6）マンガン乾電池2本使用）

周波数帯
2.4 GHz

通信距離
見通し距離最長10 m

次のページにつづく

質量
約120 g（乾電池含む）

外形寸法
約70（幅）× 37（高さ）× 113（奥行き）mm

レシーバー

インターフェース
USB Aプラグ

ケーブル長さ
200 cm

周波数帯
2.4 GHz

通信距離
見通し距離最長10 m

質量
約140 g

外形寸法
約84（幅）× 42（高さ）× 77（奥行き）mm

その他

対応機種
Windows XPを搭載したソニー製コンピュータ バイオ

動作温度
5℃～35℃（温度勾配10℃/時以下）

動作湿度
20%～80%（結露のないこと）
ただし35℃における湿度は65%以下（湿球温度29℃以下）

保存温度
–20℃～60℃（温度勾配10℃/時以下）

保存湿度
10%～90%（結露のないこと）
ただし60℃における湿度は20%以下（湿球温度35℃以下）

付属品
ワイヤレスマウス（1）
レシーバー（1）
単3形（R6）マンガン乾電池*（6）
取扱説明書（本書）（1）
保証書（1）

* アルカリ乾電池を使用すると、乾電池の寿命がより長くなります。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

故障かな？と思ったら

VAIOカスタマーリンクにご相談になる前にもう1度チェックしてみてください。それでも具合が悪いときは、VAIOカスタマーリンクにご相談ください。

症状	原因／対策
マウスのボタンを押しても反応しない	• レシーバーがUSBコネクタに正しく接続されていない。 →起動しているソフトウェアを終了してから、コネクタに接続し直してください。 • 対応以外のOSを使用している。 →対応OSをお使いください。 • USBが使用不可になっている。 →コンピュータのシステムのプロパティを確認してください。 • マウスの乾電池が切れている。 →ON/OFF（電源）スイッチをONにしてもマウスの電源が入らないときは、乾電池を交換してください。詳しくは「準備する」（15ページ）をご覧ください。 • マウスとレシーバーが接続できる状態になっていない。 →「レシーバーとキーボード・マウスを接続する」（17ページ）に従って、マウスとレシーバーが正しく接続できるようにしてください。 →使用環境によっては、電波の到達距離が極端に短くなり、正しく動作しないことがあります。レシーバーはコンピュータやディスプレイなどの電子機器から20 cm以上離して設置してください。 →マウスとレシーバーが離れすぎていると、電波が届かないことがあります。マウスとレシーバーをできるだけ近づけてください。 • マウスの動きが判断されにくい場所で使用している。 →鏡、ガラス、光沢のあるもの、透明な素材のもの、濃淡がはっきりした柄のものなどの上では、マウス底面のセンサーがマウスの動きを判断できないことがあります。このような場所で使用するときは、マウスパッドを使用してください。

次のページにつづく

症状	原因／対策
CONNECT（**コネクト）ボタンを押しても接続できない**	→キーボード・マウスに乾電池が入っているか確認してください。詳しくは「準備する」（15ページ）をご覧ください。 →キーボード・マウスの電源スイッチがOFFになっていると、レシーバーと接続できません。キーボード側面やマウス裏面の電源スイッチを確認してください。 →電源スイッチをONにしてもキーボード・マウスの電源が入らないときは、乾電池が切れている可能性があります。乾電池を交換してください。詳しくは「準備する」（15ページ）をご覧ください。 →キーボード・マウスとレシーバーが接続できる状態になっていない可能性があります。レシーバーのCONNECTボタンを押してから10秒以内にキーボードやマウスのCONNECTボタンを押さなかったときは、レシーバーによるキーボードやマウスの認識はキャンセルされます。この場合は、もう一度始めから接続できる状態にする操作を行ってください。詳しくは「レシーバーとキーボード・マウスを接続する」（17ページ）をご覧ください。 →キーボード・マウスとレシーバーが離れすぎていると、接続できません。キーボードやマウスとレシーバーの最長接続可能距離は、約10 mです。金属が使用されているテーブルの上で使用したり、キーボード・マウスとレシーバーの間に障害物があると、接続可能距離は短くなります。
スクロールしない	• 対応以外のOSを使用している。 →対応OSをお使いください。 • スクロール機能に対応していないソフトウェアを開いている。 →スクロールの必要のないソフトウェアはスクロールできません。 →ソフトウェアによっては、スクロール機能に対応していないものがあります。 • 省電力動作モード中にレシーバーを接続した後、通常モードに戻した。 →レシーバーケーブルをUSBコネクタから抜いて、数秒待ってから接続し直してください。

症状	原因／対策
マウスを動かしてもポインタが動かない	→Windowsまたはその他のソフトウェアで処理を行っているときなどに、マウスの動作に時間がかかる場合があります。処理が終了するまでしばらく待ってからご使用ください。 →コンピュータの取扱説明書をご覧いただくことで問題が解決される場合もありますので、お使いのコンピュータ本体に付属の取扱説明書または電子マニュアルもあわせてご覧ください。 • マウスの乾電池が切れている。 →ON/OFF（電源）スイッチをONにしてもマウスの電源が入らないときは、乾電池を交換してください。詳しくは「準備する」（15ページ）をご覧ください。 • マウスとレシーバーが接続できる状態になっていない。 →「レシーバーとキーボード・マウスを接続する」（17ページ）に従って、マウスとレシーバーが正しく接続できるようにしてください。 →使用環境によっては、電波の到達距離が極端に短くなり、正しく動作しないことがあります。レシーバーはコンピュータやディスプレイなどの電子機器から20 cm以上離して設置してください。 →マウスとレシーバーが離れすぎていると、電波が届かないことがあります。マウスとレシーバーをできるだけ近づけてください。 • マウスの動きが判断されにくい場所で使用している。 →鏡、ガラス、光沢のあるもの、透明な素材のもの、濃淡がはっきりした柄のものなどの上では、マウス底面のセンサーがマウスの動きを判断できないことがあります。このような場所で使用するときは、マウスパッドを使用してください。
ホイールボタンを押してもクリック／オートスクロールができない	ソフトウェアがクイック／オートスクロールに対応していない →クイック／オートスクロールは、対応しているソフトウェアでのみ使用できます。
ホイールを回転してもズーム機能が動作しない	• ソフトウェアがズーム機能に対応していない。 →ズーム機能に対応したソフトウェアのみ機能します。 • スクロールバーが出るまで拡大した。 →ホイール以外の操作で、スクロールバーが出なくなるまで縮小すれば、ズーム機能に戻ります。

次のページにつづく

症状	原因／対策
キーボードやマウス使用時でも、液晶ディスプレイが暗くなったり、省電力動作モードに入る	USB機器を使用中であっても、コンピュータが省電力動作モードに入る → 省電力動作モードに入らないようにするには、コンピュータのパワーマネジメント機能の設定を変更します。詳しくはコンピュータ本体の取扱説明書または電子マニュアルをご覧ください。 → ポインティングデバイスあるいはキーボードを操作すると、省電力モードから復帰します。
LCD／Video**スタンバイ状態から復帰しない**	→ ポインティングデバイスあるいはキーボードを操作すると復帰します。
画面上のポインタがスムーズに動かない	→ 光学式マウスは、マウス底面からの赤い光により照らし出されている陰影を光学式センサーで検知し、マウスの動きを判断しています。 次のような表面では正しく動作しない場合があります。 • 透明な素材（ガラスなど） • 光を反射する素材（光沢のあるビニールや鏡など） • 網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの（雑誌や新聞の写真など） • 濃淡のはっきりした縞模様や柄のもの ポインタが正常に動かないときは、上記の条件に該当しない表面でマウスを操作してみてください。
省電力モードからキーボードやマウスで復帰できない、または復帰に時間がかかる	→ キーボードの任意のキーまたはPOWER（電源）ボタンを押してください。
コンピュータの起動時に「マウスが接続されていません」というエラーメッセージが表示される	→ ［今後、このメッセージを表示しない］チェックボックスをチェックして［OK］をクリックしてください。
省電力動作モードから復帰後、マウスがスムーズに動かない	→ レシーバーケーブルをUSBコネクタから抜いて、数秒待ってから接続し直してください。
レシーバーを接続してキーボードやマウスが使えるようになるまで時間がかかる	→ Windowsまたはその他のソフトウェアや他のUSB機器で処理を行っているときにレシーバーをコンピュータに接続すると、レシーバーの認識に時間がかかることがあります。

症状	原因／対策
キーボードが使えない	→ レシーバーとキーボードの距離を確認してください。 レシーバーとキーボードの距離は仕様範囲の距離内でご使用ください。金属製の机の上など、キーボードの近くに金属があると、電波の到達距離が短くなる場合があります。 → キーボードに乾電池が入っているか確認してください。 乾電池をキーボードに正しく入れ、レシーバーのCONNECTボタンを押します。その後、10秒以内に、乾電池を交換したキーボードのCONNECTボタンを押します。このとき、キーボードが、レシーバーと十分に近い位置（30 cm以内）でボタンを押すようにしてください。
ポインティングデバイスが使えない	→ POINTING DEVICE（ポインティングデバイス）スイッチがOFFになっています。スイッチをONにしてください。 • キーボードに乾電池が入っているか確認してください → 新しい乾電池を正しくキーボードに入れ、レシーバーのCONNECTボタンを押します。その後10秒以内に、キーボードのCONNECTボタンを押します。このとき、キーボードがレシーバーと充分に近い位置（30 cm以内）にある状態でボタンを押すようにしてください。 • キーボードの乾電池の残量が充分か確認してください → 乾電池の残量が充分かどうかは、キーボード右上にあるバッテリインジケーターで確認することができます。 残量が残り少ない場合は、「キーボードに乾電池を入れる」（15ページ）に従って交換してください。 • キーボードのPOWER（電源）スイッチがONになっているか確認してください。 • 本機を複数台使用した場合、電波の混信によりキーボードが正常に操作しない場合があります。 → その場合は、次の手順に従ってください。 1 キーボードから乾電池を取り出し、1分以上放置する。 2 再びキーボードに乾電池を入れ、レシーバーのCONNECTボタンを押す。 3 10秒以内にキーボードのCONNECTボタンを押す。 本機を複数台使用するときは、1台ずつそれぞれ設定を行ってください。複数台を同時に設定しようとすると、混信する場合があります。 → ポインティングデバイスは、圧力を感知して作動します。反応が鈍いと感じたら、やや強く押してください。

次のページにつづく

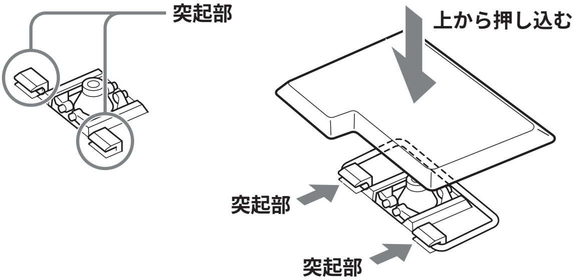
症状	原因／対策
「VAIOテレビポジションの設定」というメッセージが表示される。	→［今後、このメッセージを表示しない］チェックボックスをチェックして［OK］をクリックしてください。

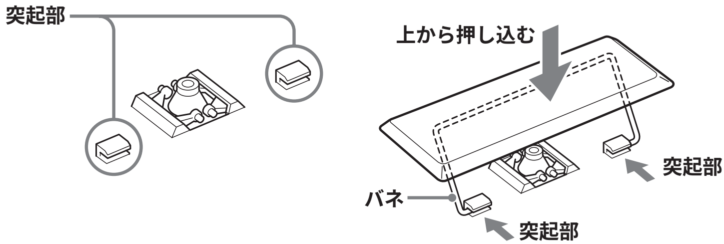
キートップがはずれたら

［Enter］キーと［Shift］キー、スペースキーがはずれた場合は、下の図に従って取り付けてください。その他のキートップがはずれたときは、元の位置に戻してカチッと音がするまで上から押し込んでください。

キートップの取り付けかた

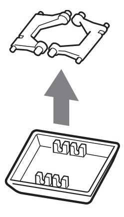
キートップから針金のバネを取りはずして突起部にひっかけ、キートップの中心を合わせてカチッと音がするまで上から押し込みます。





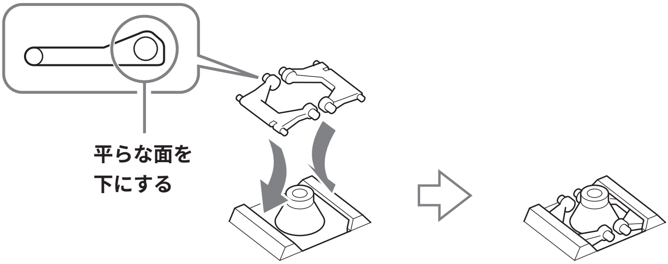
キートップといっしょにプラスチックのバネもはずれた場合は、次の手順に従って取り付けてください。

1　キートップからプラスチックのバネを取りはずす。

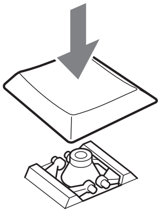


次のページにつづく

2 **バネの平らな面を下にして、向きを確認してからキーボードに取り付ける。**



3 **キートップを元の位置に戻してカチッと音がするまで上から押し込む。**



ご注意

- キートップを故意にはずさないでください。故障の原因となります。
- 取り付けるときに無理に力を加えると、破損の原因となります。取り扱いには充分ご注意ください。

お問い合わせ先について

「故障かな？と思ったら」の項目をチェックしても具合が悪いときは、以下のお問い合わせ先にご相談ください。

VAIO**カスタマーリンク**		
電話番号	（0466）30-3000	
受付時間		一般的にお電話は午前中より午後の方がつながりやすくなっております。
平日	10時〜20時	
土、日、祝日	10時〜17時	
（年末年始は除く）		

お電話は音声認識を用いた自動音声のアナウンスに従って、ご希望のメニューをお選びください。各メニューの担当オペレーターが対応いたします。

お電話の前に以下の内容をご用意ください。

① お客様のVAIO**カスタマー**ID（ご登録いただいている場合）
② カスタマー登録していただいたときの**電話番号**（ご登録いただいている場合）

ちょっと一言

発信者番号通知でお電話していただくとよりスムーズに担当者につながります。

③ 本機の**型名**（保証書に記載されています）
④ 本機の**製造番号**（本製品の底面に記載されています）
⑤ 接続して使用している**コンピュータ本体の型名**（コンピュータの保証書またはカスタマー登録カードに記載されています）
⑥ 表示された**エラーメッセージ**
⑦ 本機に対応していないソフトウェアを追加した場合は、その**ソフトウェアの名前とバージョン**
⑧ トラブルが発生する前または**直前に行った操作**
⑨ トラブルがどのくらいの**頻度**で再現するか
⑩ その他お気づきの点
⑪ 筆記用具（修理を受付する際にお伝えする修理受付番号を控えるのに必要です）

English

WARNING

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

Owner's Record

The model number and the serial number are located on the bottom of the keyboard. Record the serial number in the space provided below. Refer to this number whenever you call your Sony dealer regarding this product.

Model No. VGP-WKB1
Serial No. ______________________

This device contains the following wireless devices: Keyboard (VGP-WKB1/U*), Mouse (VGP-WMS1), and Receiver (VGP-WRC1)

* Model name of keyboard will be followed by a suffix No.

For customers in the U.S.A.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

– Reorient or relocate the receiving antenna.
– Increase the separation between the equipment and receiver.
– Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
– Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
For questions regarding your product or for the Sony Service Center nearest you, call 1-888-476-6972 in the United States or 1-800-961-7669 in Canada.
The number below is for FCC related matters only.

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model No.:	VGP-WRC1
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16450 W. Bernardo Dr, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone No.:	858-942-2230

This phone number is for FCC-related matters only.

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

FCC Radiation Exposure Statement:
These products comply with FCC radiation exposure limits set forth for uncontrolled equipment and meet the FCC radio frequency (RF) Exposure Guidelines in Supplement C to OET65. These products have very low levels of RF energy that it is deemed to comply without testing of specific absorption ratio (SAR).

Co-location Statement:
These products must not be co-located or operated in conjunction with any other Note PC which is not manufactured by SONY Corporation.

For customers in Europe

Hereby, Sony, declares that this product is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.

To obtain the declaration of conformity(DoC) for R&TTE Directive, please access the following URL address.
http://www.compliance.sony.de/

This product complies with European standards EN55022 Class B and EN55024 for use in the following areas: residential, commercial and light industrial.

It also complies with the EN 60825-1, being classified as a CLASS 1 LED product.
Repair and maintenance only by authorized Sony technicians. Improper use and repairs can create a safety hazard.

This equipment has been tested and found to comply with the limits set out in the EMC Directive by using a connection cables not longer than 3 meters.

Avoid looking directly at the red light emitted from the bottom of the mouse. Doing so could harm your eyes.

This product is intended to be used in the following countries:
Austria, Belgium, Czech Republic, Denmark, Finland, France, Germany, Greece, Iceland, Ireland, Italy, Luxembourg, the Netherlands, Norway, Portugal, Spain, Sweden, Switzerland and the United Kingdom.

CE

In this manual, Microsoft® Windows® XP Home Edition and Microsoft® Windows® XP Professional are referred to as Windows XP.
In this manual, the ™ or ® marks are not specified.

Table of Contents

GB

Before Use

Before using the keyboard and mouse, read this manual thoroughly and retain it for future reference.
The Wireless keyboard is designed for use with Sony VAIO® computers, Windows XP Home Edition, Windows XP Professional models only (except for the PCV-LX series). Use of this keyboard with other computers is not supported.

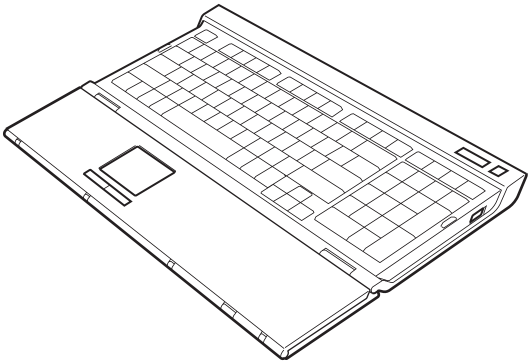
Note

When using this product with a computer having a built-in wireless receiver, connect the receiver supplied with this product to the computer.

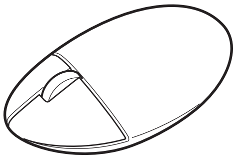
Check the Supplied Contents

Check to make sure the box includes the following items. If any of the following items is damaged or missing, see “Getting Help” on page 23.

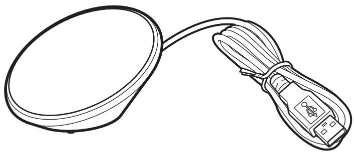
- Wireless keyboard with pointing device (referred to as the keyboard) (1)



- Wireless mouse (referred to as the mouse) (1)



- Receiver (1)



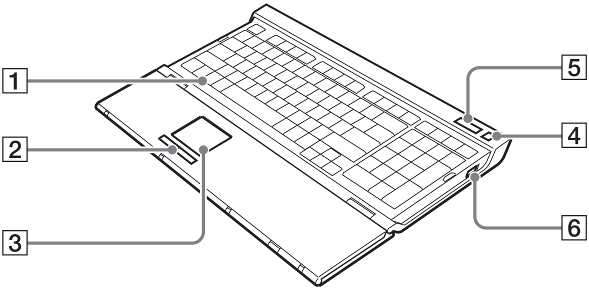
- R6 (size AA) manganese batteries (6)
- Operating Instructions (this document) (1)
- Warranty Card (1)

Names of Parts

Keyboard*

* Keyboard layout and special characters may vary depending on your country or region.

Top



1 Windows key

The Windows "Start" menu appears.

2 Left/right button

Used as the left and right mouse buttons.

3 Pointing device

Controls the on-screen pointer for clicking, dragging, and other operations.

4 Standby button

Press this button when the keyboard is ON to switch to Standby mode. Press this button again to return from Standby mode.

5 Indicators

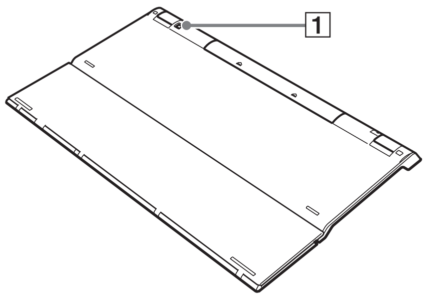
- Battery indicator
  When the remaining keyboard battery life is sufficient, ▭ is displayed. ▭ is displayed when the battery is almost exhausted.

- Num Lock indicator
  Lights when the Number Lock is on.
- Caps Lock indicator
  Lights when the Caps Lock is on.
- Scroll Lock indicator
  Lights when the Scroll Lock is on.

6 POWER switch

Turn ON/OFF the keyboard power.

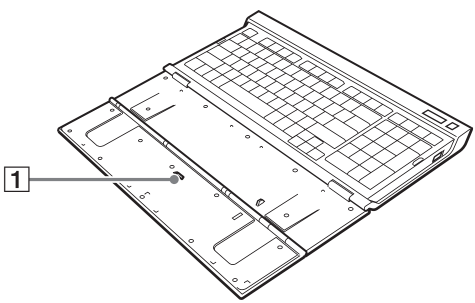
Bottom



1 CONNECT button

Used when enabling communication between the keyboard and the receiver.

With palmrest open



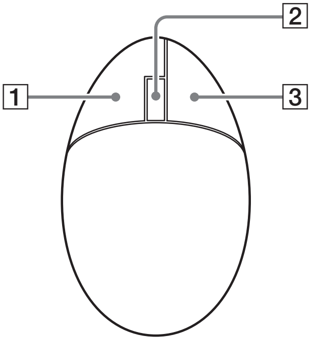
1 POINTING DEVICE switch

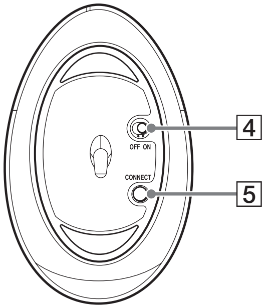
Turn ON/OFF the pointing device.

Continued on next page

Mouse

Top **Bottom**





1 **Left button**

2 **Wheel button**

3 **Right button**

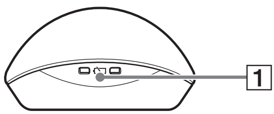
4 **ON/OFF (power) switch**

Turn ON/OFF the mouse power.

5 **CONNECT button**

Used when enabling communication between the mouse and the receiver.

Rear

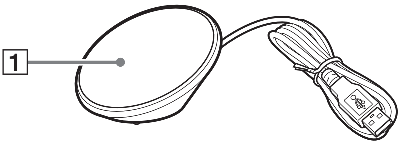


1 **Low battery lamp**

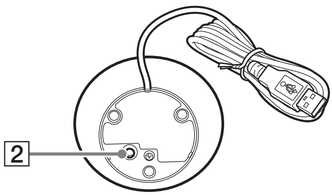
Blinks when the mouse batteries are low.

Receiver

Top



Bottom



1 **Light sensing portion**

2 **CONNECT button**

Used when enabling communication between the keyboard or mouse and the receiver.

Setting Up

Note

To prevent battery fluid leaks, explosion, and severe damage, observe the following precautions.

- Insert the batteries with the correct + – orientation.
- Do not mix old and new batteries or batteries of a different type.
- Do not charge dry-cell batteries.
- If the mouse is not used for a long period of time, remove the batteries.
- If a battery fluid leak occurs, carefully wipe the battery compartment, and insert new batteries.
- Not compatible with commercially available rechargeable batteries. Use regular dry-cell batteries. Using rechargeable batteries may lead to injury or damage due to battery fluid leaks.

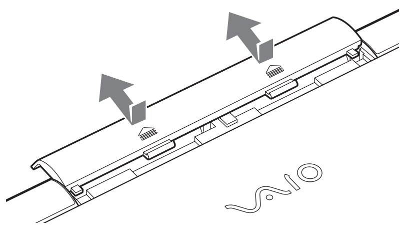
Hint

Check the remaining battery charge with the battery indicator and low battery lamp. Replace batteries when they run low.
When not using the keyboard and mouse, set the power switch to OFF. This will make the batteries last longer.

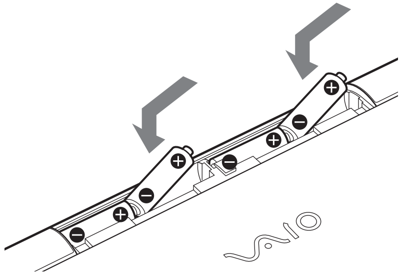
Inserting batteries into the keyboard

1 Set the keyboard POWER switch to OFF.

2 Open the cover on the back of the keyboard.



3 Insert four of the supplied R6 (size AA) batteries or four R6 (size AA) alkaline batteries (not supplied) with the correct ⊕ ⊖ orientation.

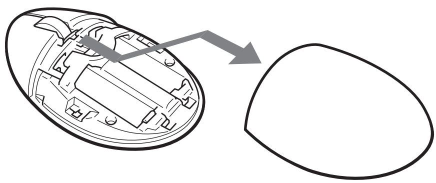


4 Close the cover.

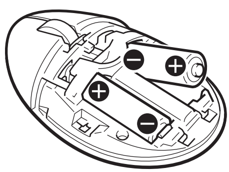
Inserting batteries into the mouse

1 Set the mouse ON/OFF(power) switch to OFF.

2 Open the battery compartment cover.

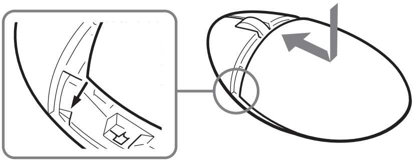


3 Insert two of the supplied R6 (size AA) batteries or two R6 (size AA) alkaline batteries (not supplied) with the correct ⊕ ⊖ orientation.



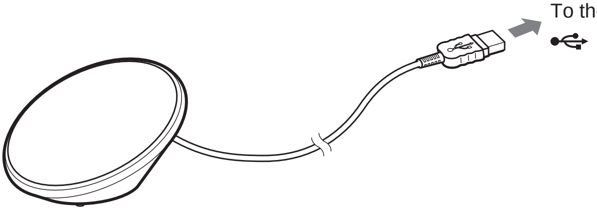
Continued on next page

4 Close the battery compartment cover.



Connecting the receiver to the computer

Connect the receiver to the computer using the receiver cable.



When connecting the receiver to the computer for the first time

The first time the receiver is connected to the computer, the Windows operating system automatically installs the standard USB device driver.

Notes

- Drivers for USB devices must be installed for each port used. If you connect the receiver to a different USB port on your computer, the driver installation procedure will be repeated for that USB port.
- Connect the receiver only to a built-in USB port. Do not connect the receiver to an external USB hub.

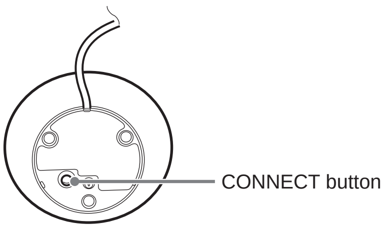
Enabling communication between the keyboard and mouse and the receiver

Note

Place the keyboard and receiver within the communication range given in the specifications.

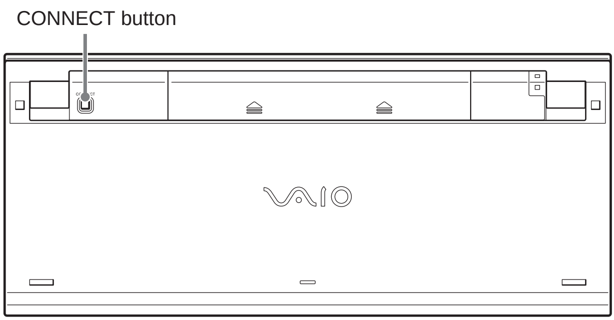
1. Set the keyboard POWER switch to ON.
2. Set the keyboard POINTING DEVICE switch to ON.
3. Set the mouse ON/OFF(power) switch to ON.
4. Press the CONNECT button on the receiver.

   It may require up to 30 seconds for the receiver to recognize the keyboard and mouse.



5. Press the CONNECT button on the keyboard.

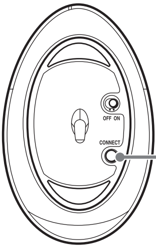
   Communication between the keyboard and the receiver starts.



6. Press the CONNECT button on the receiver again.

Continued on next page

7 Press the CONNECT button on the mouse.



Communication between the mouse and the receiver starts.

Note

If another VGP-WKB1 wireless keyboard is being used nearby, it may interfere with communication between the keyboard and mouse and the receiver. Enable communication at different times or at a distance from each other.

To stop using the keyboard and mouse

Disconnect the receiver cable from the USB port of the computer.
You can disconnect and connect the receiver cable without turning off the computer. You can conserve battery power by turning off the keyboard and mouse when not in use.

Confirming communication

Perform this procedure with the receiver connected.

1 Press the Windows key on the keyboard, and check to see that the “Start” menu appears.

2 Move your finger on the pointing device, and check to see that the pointer moves in the same direction on the screen.

3 Move the mouse, and check to see that the pointer moves in the same direction on the screen.

If the pointer does not move accordingly in the steps above, communication is not enabled properly. Repeat the steps described in “Enabling communication between the keyboard and mouse and the receiver” (page 13).

Using the Wireless Keyboard

Key	Function
☾ (Standby) button	Press this button when the keyboard is ON to switch to Standby mode. Press this button again to return to Activate mode from Standby mode
Fn+NumLk	Turns SCROLL LOCK on. What the SCROLL LOCK function does varies depending on the software being used. For details, see the software's Help.
Fn+↑	PAGE UP function. Displays the page above the one currently displayed.
Fn+→	END function. Move to the insert point the end of a line or page.
Fn+↓	Used as the PAGE DOWN key. Displays the page below the one currently displayed.
Fn+←	HOME function. Move the insert point to the beginning of a line or page.
Fn+F2	SOUND OFF
Fn+F3	VOLUME DOWN
Fn+F4	VOLUME UP

Note

When the volume is adjusted with the Fn key, the changes are not displayed on the screen. You can check the changes in "Volume Control".

Hint

The following additional key functions are available for the VAIO PCV-V series and the VGC-V series personal computer.

- Fn+F5: Decreases the brightness of the display.
- Fn+F6: Increases the brightness of the display.

To use the additional key functions, download the software for adjusting display brightness. For details, visit the Web site listed in "Getting Help" (page 23).

Continued on next page

Indicator	Function
▭/▭ (battery) indicator	When the remaining keyboard battery life is sufficient, ▭ is displayed. ▭ is displayed when the battery is almost exhausted. When ▭ is blinking, battery life is sufficient but communication between the keyboard and receiver have been disconnected. When ▭ is blinking, battery life is not sufficient and communication between the keyboard and receiver have been disconnected. When ▭ and ▭ are flashing, the keyboard is establishing communication to the receiver.
Num Lock indicator	Lights when the Number Lock is on.
	Lights when the Caps Lock is on.
Scroll Lock indicator	Lights when the Scroll Lock is on.

When all indicators are lit or blinking

When all the indicators are lit, the keyboard is being initialized.

When all the indicators are blinking, the keyboard failed to establish communication with the receiver.

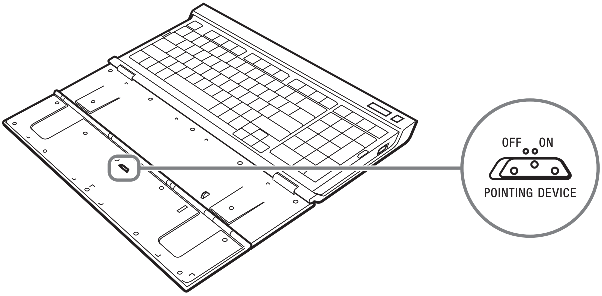
Notes

- When the keyboard is not in use for more than 20 minutes, the indicators turn off and communication between the keyboard and receiver may be disconnected. If this happens, press the Fn key, and see that the ▭ or ▭ is displayed before using.
- Waking up from Standby mode
  On a desktop computer:
  After pressing the (Standby) button to wake up from Standby mode, make sure the indicator appears. If the indicator does not appear, press the (Standby) button again.

  On a notebook computer:
  Press any key on your notebook computer to wake up from Standby mode.

Basic operation

To use the pointing device, open the palmrest and set the POINTING DEVICE switch to ON.



The pointer on the screen follows your finger movements on the pointing device.

You can control the on-screen pointer and perform the following operations using the pointing device.

Clicking

Move the pointer to the desired location and press the left button below the pointing device.
You can also perform the click function by lightly tapping the pointing device.

Double-clicking

Move the pointer to the desired location and press the left button twice in rapid succession.
You can also perform the double-click function by lightly tapping the pointing device twice.

Right-clicking

Move the pointer to the desired location and press the right button once.
Depending on where the pointer is when you press the button, a shortcut menu with various choices may appear.

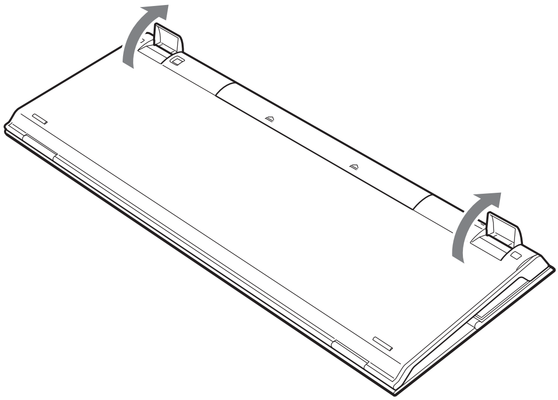
Notes

- The pointing device senses the pressure of your finger and moves accordingly. If pointer response seems sluggish, press the pointing device more firmly.
- You can use the pointing device on the keyboard to move the pointer and operate the left and right buttons. Scrolling and other features are not available.

Continued on next page

Unfolding the legs on the keyboard

Unfold the legs on the keyboard to make typing easier.



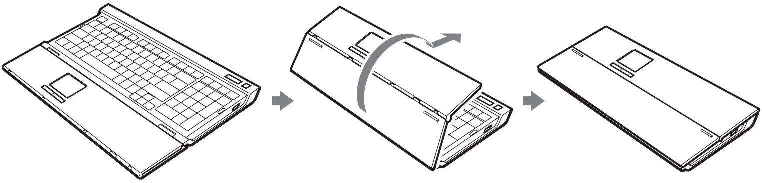
Note

Be careful not to break the tabs when folding and unfolding the legs on the keyboard.

Palmrest

Unfold the palmrest towards you to relieve stress from your wrists when using the keyboard.

Fold the palmrest over the keyboard to be used as a cover, when not in use.

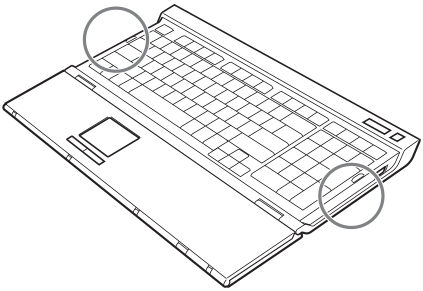


Hint

The pointing device can be used when the palmrest is folded over the keyboard.

Notes

- Do not force the palmrest too far open.
- When using the palmrest on a flat surface, such as a desk, install the keyboard so that the palmrest does not extend over the edge.
- Do not carry the keyboard by the palmrest. Use both hands to hold the keyboard when carrying it.



Using the Wireless Mouse

When you move the mouse, the pointer displayed on your screen moves in the same direction.
This section describes basic mouse operations and how to use the wheel button.

Note

The optical mouse may not operate correctly on the following surfaces:

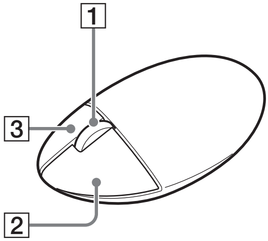
- Transparent surfaces (such as glass)
- Surfaces that reflect light (such as highly polished veneers or mirrors)
- Surfaces with a repetitive pattern, such as screening (like that used for printing photos in magazines and newspapers)
- Surfaces that are striped or have another distinct, high-contrast pattern

If the pointer does not move smoothly across the screen, make sure you are not using the mouse on one of the above mentioned surfaces.

Hint

If necessary, you can adjust the mouse pointer speed in the "Mouse Properties" dialog box. To display the "Mouse Properties" dialog box, click "Start", "Control Panel", "Printers and Other Hardware", and then select "Mouse".

Basic operations



1 Wheel button

Use the wheel button to easily scroll up and down in a window. You can also use auto scroll by pressing the wheel button.

2 Left button

Use to open saved documents, pictures and other files and to run programs. Most mouse functions are performed using this button.

3 Right button

Use this button to display shortcut menus that allow you to copy saved documents, pictures and other files, view file details, and access various commands and settings.

Precautions

Operating range for the keyboard and mouse

The maximum communication range for the keyboard and mouse is 32.81 ft. (10 m) from the receiver. Depending on the usage environment, sometimes the usable distance may be shorter, preventing normal operation. In such a case, take the following measures:

- Ensure that the keyboard and mouse are at least 8 in. (20 cm) from the computer, display, and other electronic devices.
- Move the receiver closer to the keyboard and mouse.
- Use a mouse pad.

Safety

If any solid object or liquid falls onto the keyboard and mouse, turn it off and have it checked by qualified personnel before continuing its use.

Pointing device sensitivity

The sensitivity of the keyboard pointing device and your computer's pointing device may differ.

Location

Do not place the keyboard and mouse in a location where they are:

- On an unstable surface
- In very humid areas or where there is no ventilation
- Subject to excessive dust
- Subject to direct sunlight or extreme heat
- Subject to extreme cold

Operation

If the keyboard and mouse are brought directly from a cold to a warm location or placed in a very damp room, moisture may condense on the inside of the keyboard and mouse. If this occurs, the keyboard and mouse may not work properly.
In this case, wait about 30 minutes for the moisture to evaporate. If the keyboard and mouse do not work properly after one hour, consult your nearest Sony dealer.

Carrying the keyboard

When carrying the keyboard, fold up the palmrest. Do not carry the keyboard by the palmrest.

Cleaning the outside of the keyboard and mouse

- Clean the keyboard and mouse with a soft, dry cloth or a soft cloth lightly moistened with a mild detergent solution. Do not use any type of abrasive pad, scouring powder, or solvent such as alcohol or benzine.
- Always remove the batteries when cleaning the mouse.

Getting Help

This section provides information on how to get help and support from Sony, and troubleshooting tips for your keyboard and mouse.

Sony support options

Sony provides several support options for your unit. When you have questions about your keyboard and mouse or the software, refer to the following:

- ❑ **This guide** explains how to use your keyboard and mouse.

For customers in the United States and Canada

- ❑ **Sony Online Support** provides instant access to information on commonly encountered problems. Type a description of the problem and the Knowledge Database searches for the corresponding solutions online.
  You can visit the Sony Online Support at:
  http://www.sony.com/pcsupport

- ❑ **The Sony Customer Information Service Center** offers information about your keyboard and mouse and other Sony products that work with your keyboard and mouse. To contact Sony Customer Information Service Center, call
  1-888-4SONYPC (1-888-476-6972).

For customers in Europe

- ❑ **VAIO-link.** For addresses and numbers, refer to
  http://www.vaio-link.com/

For customers in other regions

- ❑ **VAIO Website** provides Frequently Asked Questions and solutions.
  http://vaio-online.sony.com/

Specifications

Wireless keyboard

Interface
Digital wireless transmission

Key pitch
0.75 in. (19.05 mm)

Keystroke
0.12 in. (3 mm)

Power requirements
6 V DC (four R6 [size AA] batteries)

Wireless frequency band
2.4 GHz

Input device
Pointing device, keyboard

Communication range
Max. 32.8 ft. (10 m), line of sight

Mass
Approx. 39.9 oz. (1130 g) (including batteries)

Dimensions
palmrest closed:
Approx. 15.8 × 1.3 × 6.9 in. (400 × 31 × 173 mm) (w × h × d)
palmrest open:
Approx. 15.8 × 1.0 × 9.8 in. (400 × 25 × 249 mm) (w × h × d)

Wireless mouse

Interface
Digital wireless transmission

Position tracking principle
Optical sensor

Sensor resolution
800 counts per inch

Wireless frequency band
2.4 GHz

Power requirements
3 V DC (two R6 [size AA] batteries)

Mass
Approx. 4.3 oz. (120 g) (including batteries)

Dimensions
Approx. 2.8 × 1.5 × 4.5 in. (70 × 37 × 113 mm) (w × h × d)

Wireless receiver

Interface
USB A

Cable length
78.7 in. (200 cm)

Wireless frequency band
2.4 GHz

Communication range
Max. 32.8 ft. (10 m), line of sight

Mass
Approx. 5.0 oz. (140 g)

Dimensions
Approx. 3.3 × 1.7 × 3.1 in. (84 × 42 × 77 mm) (w × h × d)

Miscellaneous

Supported models
Sony VAIO computers with the Windows XP operating system. (The Sony VAIO PCV-LX series is not supported)

Operating temperature
41°F to 95°F (5°C to 35°C) (temperature gradient less than 18°F (10°C)/hour)

Operating humidity
20% to 80% (not condensed), provided that humidity is less than 65% at 95°F (35°C) (hygrometer reading of less than 84°F (29°C))

Storage temperature
–4°F to 140°F (–20°C to 60°C) (temperature gradient less than 18°F (10°C)/hour)

Storage humidity

10% to 90% (not condensed), provided that humidity is less than 20% at 140°F (60°C) (hygrometer reading of less than 95°F (35°C))

Accessories

Wireless mouse (1)
Receiver (1)
R6 (size AA) manganese batteries* (6)
Operating Instructions (this document)
Warranty Card (1)

* Use alkaline batteries to achieve longer mouse operation.

Design and specifications are subject to change without notice.

Troubleshooting

If you experience any of the following difficulties while using the keyboard and mouse, use this troubleshooting guide to solve the problem. If a problem persists, consult your nearest Sony dealer.

Symptom	Cause/Remedy
Nothing happens when I press a mouse button.	• The receiver is not connected properly to the USB port. ➔ Close all programs, reconnect the receiver to your computer and re-enable communication between the keyboard and mouse and the receiver. • The operating system is not compatible. ➔ Use a supported operating system. • The USB port is not available. ➔ Check the “System Properties” of your computer. • The mouse batteries are exhausted. ➔ If the power does not come on even when the ON/OFF(power) switch is set to ON, replace the batteries. For details, see “Setting Up” (page 10). • The mouse and receiver are not communicating. ➔ Proceed as described in “Enabling communication between the keyboard and mouse and the receiver” to ensure that proper communication is possible (page 13). ➔ In some usage environments, the usable distance may be notably shorter, preventing normal operation. Ensure that the receiver is not closer than 8 in.(20 cm) to the computer, display, and other electronic devices. ➔ If the mouse is too far from the receiver, communication is not possible. Move the mouse and receiver closer together. • The mouse is being used on an unsuitable surface. ➔ When used on a mirror, glass, or other shiny surface or on a transparent or strongly patterned surface, the sensor at the bottom of the mouse may not be able to correctly detect the mouse movements. In such cases, use a mouse pad.

Symptom	Cause/Remedy
The CONNECT button was pressed, but communication is not possible.	➔ Check whether batteries are inserted in the keyboard and mouse. For details, see “Setting Up” (page 10). ➔ If the power switches on the keyboard and mouse are set to OFF, communication with the receiver is not possible. Check the setting of the switch on the rear of the mouse and the side of the keyboard. ➔ If the power does not come on when the power switch of the keyboard and mouse are set to ON, the batteries may be exhausted. Replace the batteries. For details, see “Setting Up” (page 10). ➔ Communication between the keyboard and mouse and the receiver may not have been properly established. If the CONNECT button on the keyboard and mouse are not pressed within 10 seconds of pressing the CONNECT button on the receiver, the receiver cancels communication. In such a case, perform the procedure again to enable communication. For details, see “Enabling communication between the keyboard and mouse and the receiver” (page 13). ➔ If the keyboard and mouse are too far from the receiver, communication is not possible. The maximum communication distance between the keyboard and mouse and the receiver is about 32.81 ft.(10 m). If used on a metal table or if there are obstacles between the keyboard and mouse and the receiver, the usable distance may be less.
The scroll wheel features do not work.	• The operating system is not compatible. ➔ Use a supported operating system. • The scroll wheel features do not work with the program I am using. ➔ The scroll wheel features work only with programs that use scroll bars. ➔ Some programs do not support the scroll wheel features. • The receiver was connected in power-save mode, and the computer has now returned to normal mode. ➔ Disconnect the receiver from the USB port, wait a few seconds, and then connect the receiver again.

Continued on next page

Symptom	Cause/Remedy
The pointer doesn't move when I move the mouse.	→ Windows or other software processes may temporarily disable the mouse. In this case, you may need to wait for the processing to finish before using the mouse. → You may find some useful solutions in your computer's operating manual. Refer to the manuals provided with your computer. • The mouse batteries are exhausted. → If the mouse power does not come on even when the ON/OFF(power) switch is set to ON, replace the batteries. For details, see "Setting Up" (page 10). • The mouse is not communicating with the receiver. → Proceed as described in "Enabling communication between the keyboard and mouse and the receiver" to ensure that proper communication is possible (page 13). → In some usage environments, the usable distance may be shorter, preventing normal operation. Ensure that the receiver is not closer than 8 in.(20 cm) to the computer, display, and other electronic devices. → If the mouse is too far from the receiver, communication is not possible. Use the mouse closer to the receiver. • The mouse is being used on an unsuitable surface. → When used on a mirror, glass, or other shiny surface, or on a transparent or strongly patterned surface, the sensor at the bottom of the mouse may not be able to correctly detect the mouse movements. In such cases, use a mouse pad.
When I press the wheel button, the quick/auto scroll function does not work.	• The software does not support the quick/auto scroll function. → This function is available only with programs that support it.
The zoom function does not work when I rotate the wheel button.	• The program does not support the zoom function. → This function is available only with programs that support it. • The document has been zoomed out to the maximum level, and the scroll bar appears. → Use a method other than wheel button operation to return to the zoom function by zooming out until the scroll bar disappears.
When I'm using the keyboard or mouse, the display goes dark or the computer enters a power-saving mode.	• The computer enters a power-saving mode while the mouse is in use. → When using the mouse, change the power management setting so that the computer does not enter a power-saving mode. For details, refer to the manuals provided with your computer. → Touch the pointing device or press any key to return from a power-saving mode.

Symptom	Cause/Remedy
The computer does not return from Standby mode.	➔ Touch the pointing device or press any key on the keyboard to exit this mode.
The mouse pointer does not move smoothly across the screen.	➔ The optical mouse may not operate correctly on the following surfaces: • Transparent surfaces (such as glass) • Surfaces that reflect light (such as highly polished veneers or mirrors) • Surfaces with a repetitive pattern, such as screening (like that used for printing photos in magazines and newspapers) • Surfaces that are striped or have another distinct, high-contrast pattern If the mouse pointer does not move smoothly across the screen, make sure you are not using the mouse on one of the above mentioned surfaces.
The keyboard and mouse do not cause recovery from energy-saving mode, or recovery takes a long time.	➔ Press any key or the POWER button.
When I start the computer an error message appears, saying that the mouse is not connected.	➔ Select the option that states this message will not be displayed again, and click “OK”.
The mouse does not move smoothly after returning from energy-saving mode.	➔ Disconnect the receiver cable from the USB port, wait a few seconds, and then connect the receiver again.
After the receiver was connected, it takes some time until the keyboard and mouse can be used.	➔ If Windows, a software program, or another USB device is currently busy, it may take a while for the receiver to be recognized.
The keyboard does not work.	➔ Check the distance between the keyboard and the receiver. Place the keyboard and receiver within the communication range given in the specifications. If used on a metal table or if there are metal objects near the keyboard, the usable distance may be less. ➔ Make sure that there are batteries in the keyboard. Insert the batteries into the keyboard properly, and press the CONNECT button on the receiver. Then, within 10 seconds, press the CONNECT button on the keyboard. Make sure that the keyboard is close to the receiver (within 11.8 in. or 30 cm) when you press the button.

Continued on next page

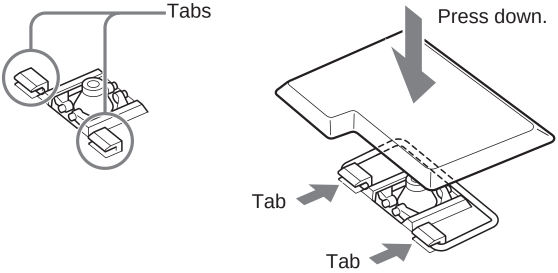
Symptom	Cause/Remedy
The pointing device does not work.	➔ POINTING DEVICE switch is set to OFF. Set the switch to ON. • Make sure that batteries are inserted in the keyboard. ➔ Insert new batteries into the keyboard properly, and press the CONNECT button on the receiver. Then, within 10 seconds, press the CONNECT button on the keyboard. Make sure that the keyboard is close to the receiver (within 11.8 in or 30 cm) when you press the button. • Check to see if the batteries are low. ➔ To see if the batteries are low, check the battery indicator on the upper-right corner of the keyboard. When the batteries are low, replace the batteries as described in "Inserting batteries into the keyboard" (page 10). • Check if the keyboard POWER switch is set to ON. • When multiple VGP-WKB1 keyboards are in use, keyboards may not function properly due to radio interference. ➔ In this case, perform the following steps. **1** Remove the batteries from the keyboard for at least one minute. **2** Reinsert the batteries into the keyboard and press the CONNECT button on the receiver. **3** Then, within 10 seconds, press the CONNECT button on the keyboard. Make sure that the keyboard is close to the receiver (within 11.8 in or 30 cm) when you press the button. When using multiple VGP-WKB1 keyboards, set up each keyboard one at a time. If multiple VGP-WKB1 keyboards are being set up, there may be radio interference. ➔ The pointing device senses the pressure of your finger and moves accordingly. If pointer response seems sluggish, press the pointing device more firmly.

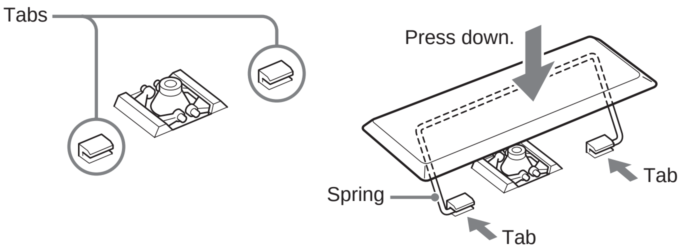
If a key comes off the keyboard

If the Enter key, Shift key, or SPACEBAR key detaches from the keyboard, reattach as shown in the following pictures. If any other key comes off, return the key to its original position and push it until it clicks into place.

Reattaching the Enter key, Shift key, or SPACEBAR key

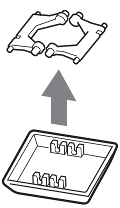
Remove the wire spring from the key and hook it on to the tabs. Align the key and push down until it clicks into place.





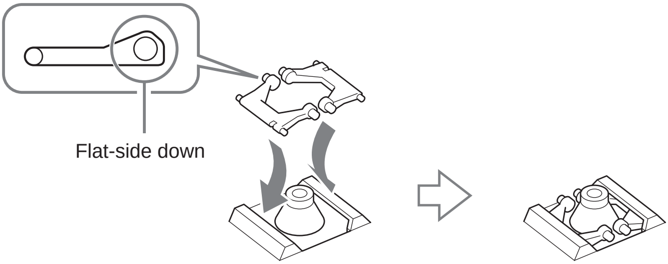
If the plastic spring comes off with the key, reattach according to the following steps:

1 Remove the plastic spring from the key.

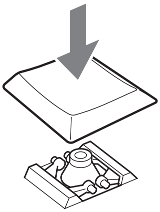


Continued on next page

2 Place the spring flat-side down, and check its orientation before reattaching it to the keyboard.



3 Return the key to its original position, and push it until it clicks into place.



Notes

- Do not deliberately remove the keys. Doing so may damage the keyboard.
- Take care not to apply too much force when reattaching keys. Doing so may damage the keyboard. Handle the keyboard carefully.

Français

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrocution, gardez cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

Cet appareil contient les équipements sans fil suivants :
clavier (VGP-WKB1/U*), souris (VGP-WMS1) et récepteur (VGP-WRC1)

* Le nom de modèle du clavier sera suivi d'un suffixe sous forme de numéro.

Pour les utilisateurs en Europe

Par la présente, Sony déclare que ce produit est conforme aux exigences de base et aux autres conditions applicables de la directive 1999/5/CE.

Pour obtenir le certificat de conformité à la directive R&TTE, veuillez consulter l'adresse URL suivante.
http://www.compliance.sony.de/

Ce produit est conforme aux directives européennes suivantes:
89/336/EEC, 92/31/EEC (EMC Directives) et 93/68/EEC (Directive Marquage CE).
Ce produit est conforme aux standards européens EN55022 Classe B et EN55024 pour une utilisation dans les environnements suivants: résidentiel, commercial et industries légères.
En tant que produit de CLASSE 1 LED, ce produit est également conforme à la norme EN 60825-1.
Confiez la réparation et l'entretien uniquement à des techniciens agréés Sony. Toute utilisation ou réparation incorrecte est dangereuse.

Cet appareil a été testé et s'est révélé conforme aux limites définies par la directive CEM en cas d'utilisation de câbles de raccordement d'une longueur inférieure à 3 mètres.

Evitez de regarder directement la lumière rouge émise au niveau de la partie inférieure de la souris. Ceci pourrait entraîner des lésions oculaires.

Ce produit est destiné à être utilisé dans les pays suivants : Autriche, Belgique, République tchèque, Danemark, Finlande, France, Allemagne, Grèce, Islande, Irlande, Italie, Luxembourg, Pays-Bas, Norvège, Portugal, Espagne, Suède, Suisse et Royaume-Uni.

Table des matières

Dans ce manuel, Microsoft® Windows® XP Edition Familiale et Microsoft® Windows® XP Professionnel sont désignés par Windows XP.
Dans ce manuel, les marques ™ ou ® ne sont pas précisées.

Avant l’utilisation

Avant d’utiliser le clavier et la souris, veuillez lire attentivement ce manuel, à conserver pour référence ultérieure.
Le clavier sans fil est conçu pour être utilisé avec les ordinateurs VAIO® de Sony, modèles Windows XP Edition familiale et Windows XP Professionnel uniquement (sauf pour la série PCV-LX). L’utilisation de ce clavier avec d’autres ordinateurs n’est pas prise en charge.

Remarque

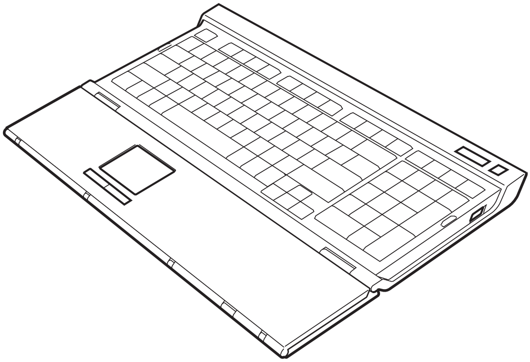
Lorsque vous utilisez ce produit avec un ordinateur doté d’un récepteur sans fil intégré, raccordez le récepteur fourni avec ce produit à l’ordinateur.

FR

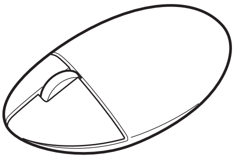
Vérification des pièces fournies

Assurez-vous que l'emballage contient les pièces suivantes. Si l'une de ces pièces est endommagée ou manquante, reportez-vous à la section « Aide » page 22.

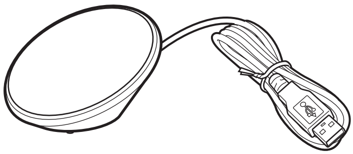
- Clavier sans fil avec dispositif de pointage (désigné par le terme clavier) (1)



- Souris sans fil (désignée par le terme souris) (1)



- Récepteur (1)



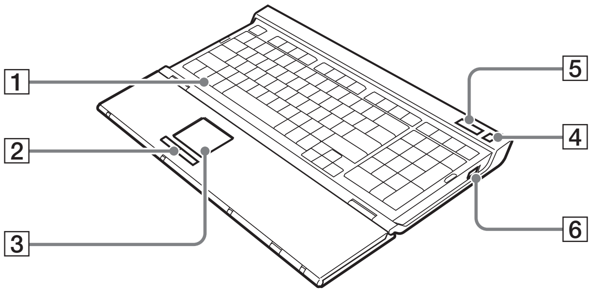
- Piles au manganèse R6 (taille AA) (6)
- Mode d'emploi (ce document) (1)
- Carte de garantie (1)

Nom des pièces

Clavier*

* La disposition du clavier et les caractères spéciaux peuvent varier selon le pays ou la région.

Dessus



1 Touche Windows

Le menu « Démarrer » de Windows apparaît.

2 Touches gauche et droite

S'utilisent comme les boutons gauche et droit de la souris.

3 Dispositif de pointage

Contrôle le pointeur à l'écran pour effectuer un clic, un glissement et d'autres opérations.

4 Touche de veille

Appuyez sur cette touche lorsque le clavier est réglé sur ON pour passer en mode de veille. Appuyez de nouveau sur cette touche pour quitter le mode de veille.

5 Indicateurs

- Indicateur de piles
  Lorsque la durée de vie des piles du clavier est suffisante, ▭ s'affiche. ▭ s'affiche lorsque les piles sont presque épuisées.

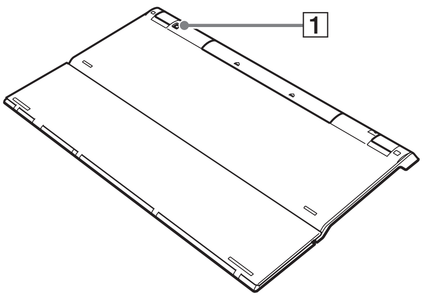
suite

- Indicateur Num Lock
  S'allume lorsque le pavé numérique est activé.
- Indicateur Caps Lock
  S'allume lorsque le verrouillage des majuscules est activé.
- Indicateur Scroll Lock
  S'allume lorsque l'arrêt du défilement est activé.

6 Commutateur d'alimentation

Règle le commutateur du clavier sur ON ou OFF.

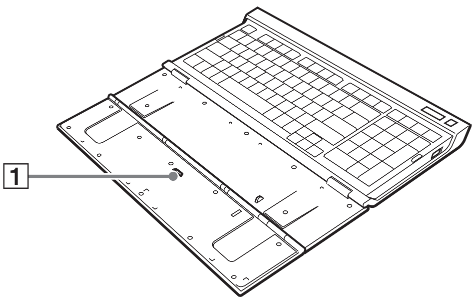
Dessous



1 Bouton de connexion CONNECT

Utilisé lors de l'activation de la communication entre le clavier et le récepteur.

Avec le repose-poignets déployé

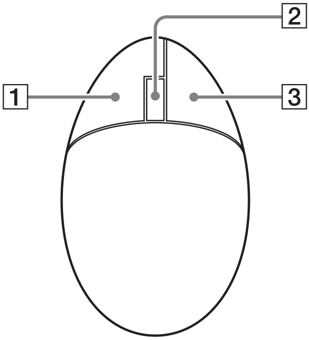


1 Commutateur du dispositif de pointage POINTING DEVICE

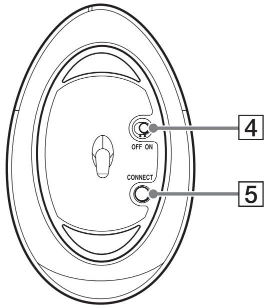
Règle le dispositif de pointage sur ON ou OFF.

Souris

Dessus



Dessous



1 **Bouton gauche**

2 **Bouton molette**

3 **Bouton droit**

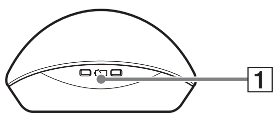
4 **Commutateur ON/OFF**

Règle l’alimentation de la souris sur ON ou OFF.

5 **Bouton de connexion CONNECT**

Utilisé lors de l’activation de la communication entre la souris et le récepteur.

Arrière



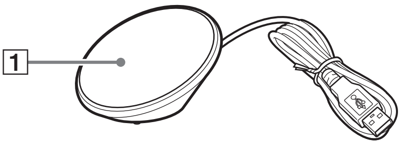
1 **Voyant de piles faibles**

Clignote lorsque les piles de la souris sont faibles.

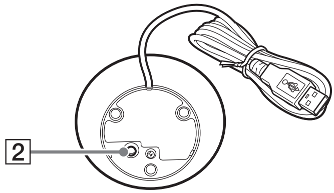
suite

Récepteur

Dessus



Dessous



1 **Zone tactile**

2 **Bouton de connexion CONNECT**

Utilisé lors de l'activation de la communication entre le clavier ou la souris et le récepteur.

Préparatifs

Remarque

Afin d'éviter toute fuite de fluide des piles, toute explosion et tout dommage important, veillez à respecter les précautions suivantes.

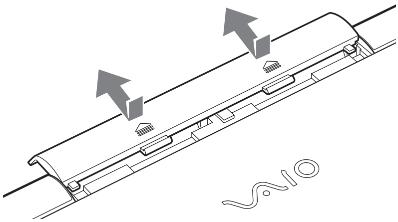
- Insérez les piles en respectant la polarité +/–.
- N'utilisez pas simultanément des piles usagées et des piles neuves ou des piles d'un type différent.
- Ne rechargez pas les piles sèches.
- Si vous n'utilisez pas la souris pendant une période prolongée, retirez les piles.
- En cas de fuite de fluide des piles, essuyez soigneusement le compartiment à piles, puis insérez des piles neuves.
- Incompatibilité avec des piles rechargeables disponibles dans le commerce. Utilisez des piles sèches classiques. L'utilisation de piles rechargeables peut entraîner des blessures ou des dommages causés par une fuite de fluide des piles.

Conseil

Vérifiez l'autonomie restante des piles à l'aide de l'indicateur de piles et du voyant de piles faibles. Remplacez les piles lorsqu'elles sont épuisées.
Lorsque vous n'utilisez pas le clavier ni la souris, réglez le commutateur sur OFF. Ceci permettra aux piles de durer plus longtemps.

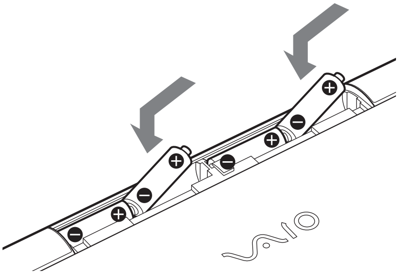
Insertion des piles dans le clavier

1. Réglez le commutateur du clavier sur OFF.
2. Ouvrez le couvercle situé à l'arrière du clavier.



suite

3 Insérez les quatre piles R6 (taille AA) fournies ou quatre piles alcalines R6 (taille AA) (non fournies) en respectant la polarité ⊕ ⊖ .

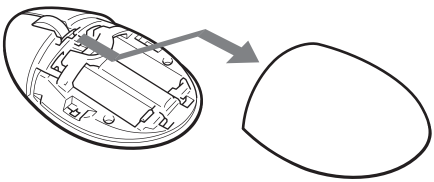


4 Refermez le couvercle.

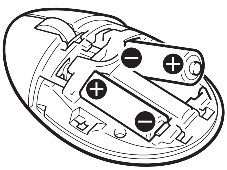
Insertion des piles dans la souris

1 Réglez le commutateur de la souris sur OFF.

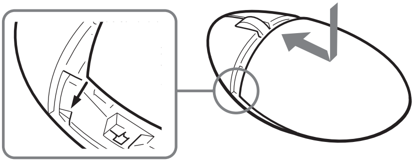
2 Ouvrez le couvercle du compartiment à piles.



3 Insérez les deux piles R6 (taille AA) fournies ou deux piles alcalines R6 (taille AA) (non fournies) en respectant la polarité ⊕ ⊖ .

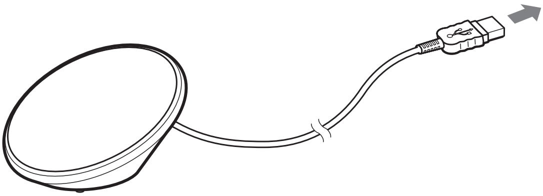


4 Refermez le couvercle du compartiment à piles.



Raccordement du récepteur à l’ordinateur

Raccordez le récepteur à l’ordinateur à l’aide du câble du récepteur.



Lors du raccordement du récepteur à l’ordinateur pour la première fois

Lorsque vous raccordez le récepteur à l’ordinateur pour la première fois, le système d’exploitation Windows lance automatiquement l’installation du pilote USB standard.

Remarques

- Les pilotes des périphériques USB doivent être installés pour chaque port utilisé. Si vous raccordez le récepteur à un autre port USB de votre ordinateur, vous devez recommencer la procédure d’installation du pilote pour ce port USB.
- Raccordez le récepteur uniquement à un port USB intégré. Ne raccordez pas le récepteur à un concentrateur USB externe.

suite

Activation de la communication entre le clavier et la souris et le récepteur

Remarque

Placez le clavier et le récepteur dans le rayon d'utilisation indiqué dans les spécifications.

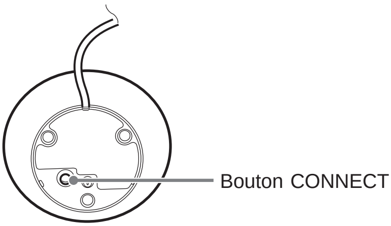
1 Réglez le commutateur POWER du clavier sur ON.

2 Réglez le commutateur POINTING DEVICE du clavier sur ON.

3 Réglez le commutateur de la souris sur ON.

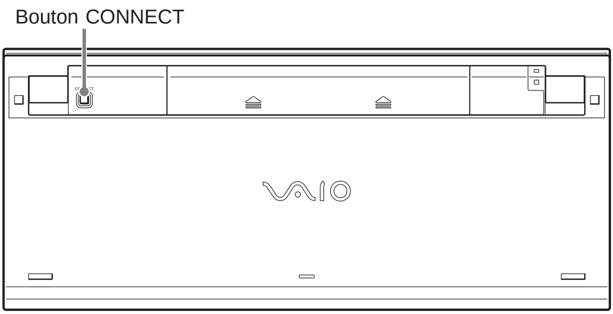
4 Appuyez sur le bouton CONNECT du récepteur.

L'identification du clavier et de la souris par le récepteur peut prendre jusqu'à 30 secondes.



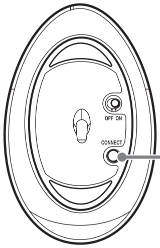
5 Appuyez sur le bouton CONNECT du clavier.

La communication entre le clavier et le récepteur commence.



6 Appuyez de nouveau sur le bouton CONNECT du récepteur.

7 Appuyez sur le bouton CONNECT de la souris.



La communication entre la souris et le récepteur commence.

Remarque

Si un autre clavier sans fil VGP-WKB1 est utilisé à proximité, il risque d'interférer avec la communication entre la souris et le récepteur. Activez la communication à des moments différents ou tenez-les éloignés.

Arrêt de l'utilisation du clavier et de la souris

Débranchez le câble du récepteur du port USB de l'ordinateur.
Vous pouvez débrancher et rebrancher le câble du récepteur sans mettre l'ordinateur hors tension. Vous pouvez économiser l'énergie des piles en désactivant le clavier et la souris lorsque vous ne les utilisez pas.

Confirmation de la communication

Effectuez cette procédure avec le récepteur branché.

1 Appuyez sur la touche Windows du clavier, puis vérifiez que le menu « Démarrer » apparaît.

2 Déplacez votre doigt sur le dispositif de pointage, puis vérifiez que le pointeur se déplace dans la même direction.

3 Déplacez la souris, puis vérifiez que le pointeur se déplace dans la même direction.

Si le pointeur ne se déplace ainsi qu'il est défini dans les étapes ci-dessus, la communication n'est pas activée correctement. Répétez les étapes décrites dans la section « Activation de la communication entre le clavier et la souris et le récepteur » (page 12).

Utilisation du clavier sans fil

Touche	Fonction
☾ Touche (veille)	Appuyez sur cette touche lorsque le clavier est réglé sur ON pour passer en mode de veille. Appuyez de nouveau sur cette touche pour quitter le mode de veille.
Fn+NumLk	Active la touche SCROLL LOCK (arrêt du défilement). Le résultat de la fonction SCROLL LOCK varie en fonction du logiciel utilisé. Pour plus de détails, reportez-vous à l'aide du logiciel.
Fn+↑	Fonction PAGE UP. Affiche la page au-dessus de celle en cours d'affichage.
Fn+→	Fonction END. Déplace le point d'insertion à la fin d'une ligne ou d'une page.
Fn+↓	S'utilise comme la touche PAGE DOWN. Affiche la page en dessous de celle en cours d'affichage.
Fn+←	Fonction HOME. Déplace le point d'insertion au début d'une ligne ou d'une page.
Fn+F2	SOUND OFF (désactivation du son)
Fn+F3	VOLUME DOWN (réduction du volume)
Fn+F4	VOLUME UP (augmentation du volume)

Remarque

Lorsque vous réglez le volume à l'aide de la touche Fn, les modifications ne s'affichent pas à l'écran. Vous pouvez vérifier les modifications dans la section « Contrôle du volume ».

Conseil

Les fonctions de touches supplémentaires suivantes sont disponibles pour les ordinateurs VAIO de la série PCV-V et de la série VGC-V.

- Fn+F5 : Réduit la luminosité de l'écran.
- Fn+F6 : Augmente la luminosité de l'écran.

Pour utiliser les fonctions de touches supplémentaires, téléchargez le logiciel pour régler la luminosité de l'écran. Pour plus de détails, rendez-vous sur le site Web indiqué dans « Aide » (page 22).

Indicateur	Fonction
/ Indicateur (piles)	Lorsque la durée de vie des piles du clavier est suffisante, s'affiche. s'affiche lorsque les piles sont presque épuisées. Lorsque clignote, la durée de vie des piles est suffisante, mais la communication entre le clavier et le récepteur a été déconnectée. Lorsque clignote, la durée de vie des piles n'est pas suffisante et la communication entre le clavier et le récepteur a été déconnectée. Lorsque et clignotent, le clavier est en train d'établir une communication avec le récepteur.
Indicateur Num Lock	S'allume lorsque le pavé numérique est activé.
Indicateur Caps Lock	S'allume lorsque le verrouillage des majuscules est activé.
Indicateur Scroll Lock	S'allume lorsque l'arrêt du défilement est activé.

Lorsque tous les indicateurs sont allumés ou qu'ils clignotent

Lorsque tous les indicateurs sont allumés, le clavier est en cours de réinitialisation.

Lorsque tous les indicateurs clignotent, le clavier n'a pas pu établir de communication avec le récepteur.

Remarques

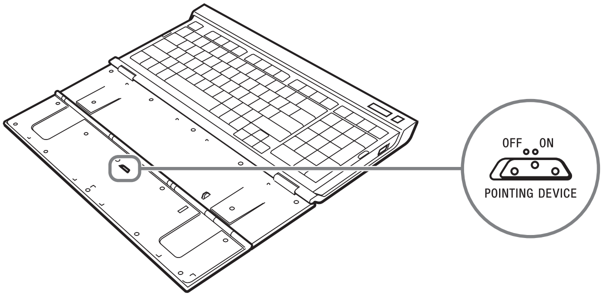
- Si vous n'utilisez pas le clavier pendant plus de 20 minutes, les indicateurs s'éteignent et la communication entre le clavier et le récepteur risque d'être déconnectée. Si cela se produit, appuyez sur la touche Fn, puis vérifiez que ou s'affiche avant l'utilisation.
- Annulation du mode de veille
  Sur un ordinateur de bureau :
  Après avoir appuyé sur la touche (veille) pour annuler le mode de veille, assurez-vous que l'indicateur apparaît. Si l'indicateur n'apparaît pas, appuyez de nouveau sur la touche (veille).

  Sur un ordinateur portable :
  Appuyez sur n'importe quelle touche de votre ordinateur portable pour annuler le mode de veille.

suite

Fonctionnement de base

Pour utiliser le dispositif de pointage, déployez le repose-poignets, puis réglez le commutateur POINTING DEVICE sur ON.



Le pointeur de l'écran suit les mouvements de votre doigt sur le dispositif de pointage.

Vous pouvez contrôler le pointeur à l'écran et effectuer les opérations suivantes à l'aide du dispositif de pointage.

Clic

Déplacez le pointeur à l'endroit de votre choix, puis appuyez sur le bouton gauche situé sous le dispositif de pointage.
Vous pouvez également effectuer un clic en tapotant légèrement sur le dispositif de pointage.

Double-clic

Déplacez le pointeur à l'endroit de votre choix, puis appuyez successivement deux fois sur le bouton gauche.
Vous pouvez également effectuer un double-clic en tapotant légèrement deux fois sur le dispositif de pointage.

Clic droit

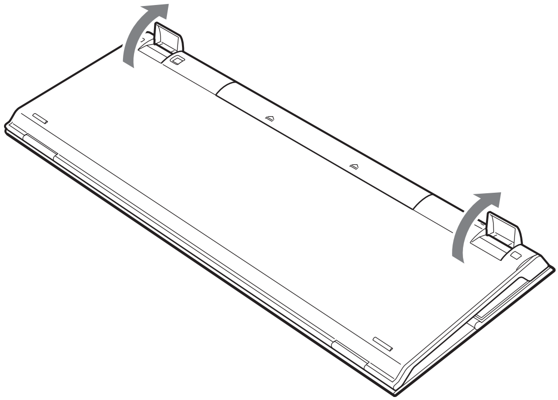
Déplacez le pointeur à l'endroit de votre choix, puis appuyez une fois sur le bouton droit.
Selon l'emplacement du pointeur au moment où vous appuyez sur le bouton, un menu contextuel peut s'afficher.

Remarques

- Le dispositif de pointage détecte la pression de votre doigt et se déplace en conséquence. Si le pointeur est lent, appuyez plus fermement sur le dispositif de pointage.
- Vous pouvez utiliser le dispositif de pointage du clavier pour déplacer le pointeur et utiliser les boutons gauche et droit. La fonction de défilement, ainsi que d'autres fonctions ne sont pas disponibles.

Déploiement des pattes du clavier

Déployez les pattes du clavier pour une saisie plus agréable.



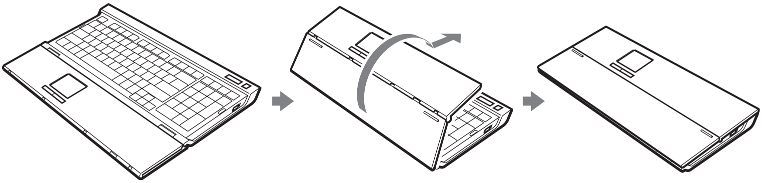
Remarque

Veillez à ne pas casser les languettes lorsque vous pliez ou déployez les pattes du clavier.

Repose-poignets

Déployez le repose-poignets vers vous pour vous détendre les poignets lorsque vos utilisez le clavier.

Repliez le repose-poignets sur le clavier qui servira de couvercle lorsque vous ne l'utiliserez pas.

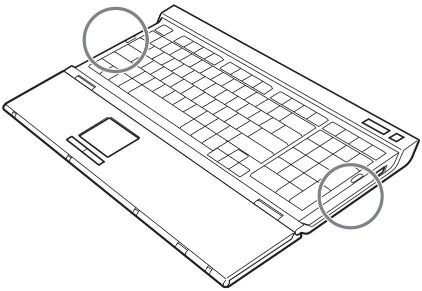


Conseil

Le dispositif de pointage peut être utilisé lorsque le repose-poignets est replié sur le clavier.

Remarques

- Ne forcez pas trop sur le repose-poignets lorsque vous le déployez.
- Lorsque vous utilisez le repose-poignets sur une surface plane, telle qu'un bureau, installez le clavier de sorte que le repose-poignets ne dépasse pas du bord.
- Ne tenez pas le clavier par le repose-poignets lorsque vous le transportez. Tenez le clavier des deux mains lorsque vous le transportez.



Utilisation de la souris sans fil

Lorsque vous déplacez la souris, le pointeur affiché à l'écran se déplace dans la même direction.
Cette section décrit le fonctionnement de base de la souris et du bouton molette.

Remarque

La souris optique risque de ne pas fonctionner correctement sur les surfaces suivantes :

- Surfaces transparentes (telles que du verre)
- Surfaces réfléchissant la lumière (telles que du bois très verni et des miroirs)
- Surfaces à motifs répétitifs, tels que les grilles (comme celles utilisées pour l'impression de photos dans les magazines et les journaux)
- Surfaces rayées ou présentant un motif distinct, à contraste très élevé

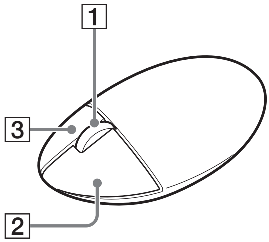
Si le déplacement du pointeur de la souris à l'écran n'est pas fluide, assurez-vous que vous n'utilisez pas la souris sur l'une des surfaces mentionnées précédemment.

Conseil

Si nécessaire, vous pouvez régler la vitesse du pointeur de la souris dans la boîte de dialogue « Propriétés de Souris ». Pour afficher la boîte de dialogue « Propriétés de Souris », cliquez sur « Démarrer », « Panneau de configuration », « Imprimantes et autres périphériques », puis sélectionnez « Souris ».

suite

Fonctionnement de base



1 **Bouton molette**

Faites tourner la molette pour défiler vers le haut ou vers le bas d'une fenêtre. Vous pouvez également utiliser la fonction de défilement automatique en appuyant sur le bouton molette.

2 **Bouton gauche**

Appuyez sur ce bouton pour ouvrir des documents enregistrés, des images, ainsi que d'autres fichiers et pour exécuter des programmes. La plupart des fonctions de la souris sont exécutées à l'aide de ce bouton.

3 **Bouton droit**

Utilisez ce bouton pour afficher les menus contextuels qui vous permettent de copier des documents enregistrés, des images, ainsi que d'autres fichiers, de visualiser les détails d'un fichier et d'accéder à divers réglages et commandes.

Précautions

Rayon d'utilisation du clavier et de la souris

Le clavier et la souris peuvent être utilisés dans un rayon de 10 m maximum autour du récepteur. Selon l'environnement d'utilisation, il se peut que cette distance soit réduite, empêchant ainsi une utilisation normale. Dans ce cas, prenez les mesures suivantes :

- Assurez-vous que le clavier et la souris ne sont pas situés à moins de 20 cm de l'ordinateur, de l'écran et de tout autre équipement électronique.
- Rapprochez le récepteur du clavier et de la souris.
- Utilisez un tapis de souris.

Sécurité

Si des objets ou des liquides tombent sur le clavier et la souris, mettez-les hors tension et faites-les vérifier par un technicien qualifié avant de continuer à les utiliser.

Sensibilité du dispositif de pointage

La sensibilité du dispositif de pointage du clavier et celle du dispositif de pointage de votre ordinateur peuvent varier.

Emplacement

Ne placez pas le clavier et la souris dans les emplacements suivants :

- Sur une surface instable
- Dans des zones très humides ou non ventilées
- Particulièrement poussiéreux
- Exposés à la lumière directe du soleil ou très chauds
- Extrêmement froids

Fonctionnement

Si vous déplacez le clavier et la souris d'un endroit froid à un endroit chaud ou si vous les placez dans une pièce très humide, de la condensation risque de se former à l'intérieur du clavier et de la souris. Si cela se produit, le clavier et la souris risquent de ne pas fonctionner correctement.
Dans cas, patientez environ 30 minutes pour permettre à la condensation de s'évaporer. Si le clavier et la souris ne fonctionnent pas correctement au bout d'une heure, contactez votre revendeur Sony le plus proche.

Transport du clavier

Lorsque vous transportez le clavier, repliez le repose-poignets. Ne tenez pas le clavier par le repose-poignets lorsque vous le transportez.

Nettoyage de l'extérieur du clavier et de la souris

- Nettoyez le clavier et la souris à l'aide d'un chiffon doux et sec ou légèrement imprégné d'une solution détergente douce. N'utilisez pas d'éponge abrasive, de poudre à récurer ou de solvant, tel que de l'alcool ou de la benzine.
- Retirez toujours les piles lors du nettoyage de la souris.

Aide

Cette section fournit des informations sur l'aide et l'assistance technique offertes par Sony et vous donne des conseils de dépannage pour votre clavier et votre souris.

Options d'assistance technique de Sony

Sony offre plusieurs options d'assistance technique pour votre appareil. Si vous avez des questions concernant le clavier et la souris ou le logiciel, consultez les références suivantes :

❑ **Ce guide** explique comment utiliser votre clavier et votre souris.

Pour les clients résidant aux Etats-Unis et au Canada

❑ **Sony Online Support** offre un accès immédiat aux informations concernant les problèmes les plus fréquents. Saisissez une description du problème et la base de données Knowledge recherche la solution correspondante en ligne. Vous pouvez vous rendre sur le site Sony Online Support :
http://www.sony.com/pcsupport

❑ **Sony Customer Information Service Center** fournit des informations concernant votre clavier et votre souris et d'autres produits Sony compatibles avec votre clavier et souvis. Pour contacter Sony Customer Information Service Center, appelez le 1-888-4SONYPC (1-888-476-6972).

Pour les clients résidant en Europe

❑ **VAIO-link.** Pour obtenir les coordonnées que vous recherchez, rendez-vous sur le site
http://www.vaio-link.com/

Pour les clients résidant dans d'autres pays ou régions

❑ **Le site Web de VAIO** comporte une rubrique des Questions les plus fréquentes et les réponses à ces questions.
http://vaio-online.sony.com/

Spécifications

Clavier sans fil

Interface
Transmission numérique sans fil

Pas de clavier
19,05 mm (0,75 pouces)

Frappe
3 mm (0,12 pouces)

Alimentation
6 Vcc (quatre piles R6 [taille AA])

Bande de fréquences sans fil
2,4 GHz

Dispositif d'entrée
Dispositif de pointage, clavier

Rayon d'utilisation
10 m (393,7 pouces) max., champ de visibilité

Poids
Approx. 1 130 g (39,9 oz.) (avec les piles)

Dimensions
Repose-poignets replié :
Approx. 400 × 31 × 173 mm (l × h × p)
(15,8 × 1,3 × 6,9 pouces)
Repose-poignets déployé :
Approx. 400 × 25 × 249 mm (l × h × p)
(15,8 × 1,0 × 9,8 pouces)

Souris sans fil

Interface
Transmission numérique sans fil

Principe de suivi de la position
Capteur optique

Résolution du capteur
800 pulsations par pouce

Bande de fréquences sans fil
2,4 GHz

Alimentation
3 Vcc (deux piles R6 [taille AA])

Poids
Approx. 120 g (4,3 oz.) (avec les piles)

Dimensions
Approx. 70 × 37 × 113 mm (l × h × p)
(2,8 × 1,5 × 4,5 pouces)

Récepteur sans fil

Interface
USB A

Longueur du câble
200 cm

Bande de fréquences sans fil
2,4 GHz

Rayon d'utilisation
10 m max., champ de visibilité

Poids
Approx. 140 g (5,0 oz.)

Dimensions
Approx. 84 × 42 × 77 mm (l × h × p)
(3,3 × 1,7 × 3,1 pouces)

Divers

Modèles pris en charge
Ordinateurs VIAO de Sony, fonctionnant sous le système d'exploitation Windows XP. (La série PCV-LX VAIO de Sony n'est pas prise en charge.)

Température de fonctionnement
5°C à 35°C (41°F à 95°F) (gradient de température inférieur à 10 °C (18°F) /heure)

Humidité de fonctionnement
20% à 80% (sans condensation), à condition que l'humidité soit inférieure à 65% à 35°C (95°F) (lecture hygrométrique inférieure à 29°C (84°F))

Température de stockage
–20°C à 60°C (–4°F à 140°F) (gradient de température inférieur à 10°C (18°F) /heure)

suite

Humidité de stockage

10% à 90% (sans condensation), à condition que l’humidité soit inférieure à 20% à 60°C (140°F) (lecture hygrométrique inférieure à 35°C (95°F))

Accessoires

Souris sans fil (1)
Récepteur (1)
Piles au manganèse R6 (taille AA)* (6)
Mode d’emploi (ce document)
Carte de garantie (1)

* Vous pouvez utiliser la souris plus longtemps en employant des piles alcalines.

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Dépannage

Si l’un des problèmes suivants survient pendant l’utilisation du clavier et de la souris, reportez-vous à ce guide de dépannage pour y remédier. Si le problème persiste, contactez votre revendeur Sony le plus proche.

Symptôme	Cause/solution
Rien ne se produit lorsque j’appuie sur l’un des boutons de la souris.	• Le récepteur n’est pas raccordé correctement au port USB. ➔ Fermez tous les programmes, puis rebranchez le récepteur à votre ordinateur et rétablissez la communication entre le clavier et la souris et le récepteur. • Le système d’exploitation n’est pas compatible. ➔ Utilisez un système d’exploitation compatible. • Le port USB n’est pas disponible. ➔ Vérifiez les « Propriétés Système » de votre ordinateur. • Les piles de la souris sont épuisées. ➔ Si la souris ne se met pas sous tension alors que le commutateur d’alimentation est réglé sur ON, remplacez les piles. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Préparatifs » (page 9). • La souris et le récepteur ne communiquent pas. ➔ Exécutez les procédures de la section « Activation de la communication entre le clavier et la souris et le récepteur », de sorte qu’une communication correcte soit possible (page 12). ➔ Selon l’environnement d’utilisation, il se peut que cette distance soit considérablement réduite, empêchant ainsi une utilisation normale. Assurez-vous que le récepteur n’est pas situé à moins de 20 cm de l’ordinateur, de l’écran et de tout autre équipement électronique. ➔ Si la souris est trop éloignée du récepteur, la communication est impossible. Rapprochez la souris du récepteur. • La souris est utilisée sur une surface inappropriée. ➔ Si elle est utilisée sur un miroir, sur du verre ou sur une surface brillante, transparente ou avec des motifs répétitifs, le capteur situé sous la souris risque de ne pas détecter correctement les mouvements de cette dernière. En pareil cas, utilisez un tapis de souris.

suite

Symptôme	Cause/solution
Vous avez appuyé sur le bouton CONNECT, mais la communication est impossible.	➔ Vérifiez que des piles ont été insérées dans le clavier et la souris. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Préparatifs » (page 9). ➔ Si les commutateur d'alimentation du clavier et de la souris sont réglés sur OFF, la communication avec le récepteur est impossible. Vérifiez le réglage des commutateurs situés à l'arrière de la souris et sur le côté du clavier. ➔ Si le clavier et la souris ne se mettent pas sous tension alors que les commutateurs du clavier et de la souris sont réglés sur ON, les piles sont peut-être épuisées. Remplacez-les. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Préparatifs » (page 9). ➔ Il est possible que la communication entre le clavier et la souris et le récepteur n'ait pas été établie correctement. Si vous n'appuyez pas sur le bouton CONNECT du clavier et de la souris dans les 10 secondes après avoir appuyé sur le bouton CONNECT du récepteur, le récepteur annule la communication. En pareil cas, recommencez la procédure pour permettre la communication. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Activation de la communication entre le clavier et la souris et le récepteur » (page 12). ➔ Si le clavier et la souris sont trop éloignés du récepteur, la communication est impossible. La distance maximale entre le clavier et la souris et le récepteur est d'environ 10 m. Sur une table métallique ou si des obstacles sont présents entre le clavier et la souris et le récepteur, le rayon d'utilisation peut être inférieur.
Les fonctions de défilement ne fonctionnent pas.	• Le système d'exploitation n'est pas compatible. ➔ Utilisez un système d'exploitation compatible. • Les fonctions de défilement ne fonctionnent pas avec le programme que j'utilise. ➔ Les fonctions de défilement ne fonctionnent qu'avec les programmes qui utilisent des barres de défilement. ➔ Certains programmes ne prennent pas en charge les fonctions de défilement. • Le récepteur a été branché alors que l'ordinateur était en mode d'économie d'énergie et le système est à présent de nouveau en mode normal. ➔ Débranchez le récepteur du port USB, patientez quelques secondes, puis rebranchez le récepteur.

Symptôme	Cause/solution
Le pointeur ne bouge pas lorsque je déplace la souris.	➔ Certains processus Windows ou logiciels peuvent désactiver temporairement la souris. Dans ce cas, vous devez attendre que ces processus se terminent avant de pouvoir utiliser la souris. ➔ Vous trouverez peut-être des solutions utiles dans le manuel d'utilisation de votre ordinateur. Reportez-vous aux manuels fournis avec votre ordinateur. • Les piles de la souris sont épuisées. ➔ Si la souris ne se met pas sous tension alors que le commutateur d'alimentation est réglé sur ON, remplacez les piles. Pour plus de détails, reportez-vous à la section « Préparatifs » (page 9). • La souris ne communique pas avec les fonctions de défilement du récepteur. ➔ Exécutez les procédures de la section « Activation de la communication entre le clavier et la souris et le récepteur », de sorte qu'une communication correcte soit possible (page 12). ➔ Selon l'environnement d'utilisation, il se peut que cette distance soit considérablement réduite, empêchant ainsi une utilisation normale. Assurez-vous que le récepteur n'est pas situé à moins de 20 cm de l'ordinateur, de l'écran et de tout autre équipement électronique. ➔ Si la souris est trop éloignée du récepteur, la communication est impossible. Rapprochez la souris du récepteur. • La souris est utilisée sur une surface inappropriée. ➔ Si elle est utilisée sur un miroir, sur du verre ou sur une surface brillante, transparente ou avec des motifs répétitifs, le capteur situé sous la souris risque de ne pas détecter correctement les mouvements de cette dernière. En pareil cas, utilisez un tapis de souris.
Lorsque j'appuie sur le bouton molette, la fonction de défilement rapide ou automatique ne fonctionne pas.	• Le logiciel ne prend pas en charge la fonction de défilement rapide ou automatique. ➔ Cette fonction n'est disponible qu'avec les programmes qui la prennent en charge.
La fonction de zoom ne fonctionne pas lorsque je fais tourner la molette.	• Le programme ne prend pas en charge la fonction de zoom. ➔ Cette fonction n'est disponible qu'avec les programmes qui la prennent en charge. • Un zoom arrière maximum a été effectué et la barre de défilement apparaît. ➔ Utilisez une autre méthode que la molette pour retourner à la fonction de zoom en faisant un zoom arrière jusqu'à ce que la barre de défilement disparaisse.

suite

Symptôme	Cause/solution
Pendant que j'utilise le clavier ou la souris, l'écran devient noir ou l'ordinateur passe en mode d'économie d'énergie.	• L'ordinateur passe en mode d'économie d'énergie lorsque la souris est utilisée. → Lorsque vous utilisez la souris, changez le réglage de gestion d'alimentation, afin que l'ordinateur ne passe pas en mode d'économie d'énergie. Pour plus de détails, reportez-vous aux manuels fournis avec votre ordinateur. → Appuyez sur le dispositif de pointage ou sur n'importe quelle touche pour quitter le mode d'économie d'énergie.
L'ordinateur ne quitte pas le mode de veille.	→ Appuyez sur le dispositif de pointage ou sur n'importe quelle touche du clavier pour quitter ce mode.
Le déplacement du pointeur à l'écran n'est pas fluide.	→ La souris optique risque de ne pas fonctionner correctement sur les surfaces suivantes : • Surfaces transparentes (telles que du verre) • Surfaces réfléchissant la lumière (telles que du bois très verni et des miroirs) • Surfaces à motifs répétitifs, tels que les grilles (comme celles utilisées pour l'impression de photos dans les magazines et les journaux) • Surfaces rayées ou présentant un motif distinct, à contraste très élevé Si le déplacement du pointeur de la souris à l'écran n'est pas fluide, assurez-vous que vous n'utilisez pas la souris sur l'une des surfaces mentionnées précédemment.
Le clavier et la souris ne permettent pas de quitter le mode d'économie d'énergie ou la reprise est très longue.	→ Appuyez sur n'importe quelle touche ou sur la touche d'alimentation.
Lorsque je démarre l'ordinateur, un message d'erreur indique que la souris n'est pas connectée.	→ Sélectionnez l'option demandant que ce message ne s'affiche plus, puis cliquez sur « OK ».
Le déplacement de la souris n'est pas fluide après avoir quitté le mode d'économie d'énergie.	→ Débranchez le câble du récepteur du port USB, patientez quelques secondes, puis rebranchez le récepteur.
Une fois le récepteur branché, vous devez attendre quelques instants avant de pouvoir utiliser le clavier et la souris.	→ Si le système d'exploitation Windows, un logiciel ou un périphérique USB fonctionne, l'identification du récepteur peut prendre quelques instants.

Symptôme	Cause/solution
Le clavier ne fonctionne pas.	➔ Vérifiez la distance entre le clavier et le récepteur. Placez le clavier et le récepteur dans le rayon d'utilisation indiqué dans les spécifications. Sur une table métallique ou si des objets métalliques se trouvent à proximité du clavier, le rayon d'utilisation peut être inférieur. ➔ Vérifiez que des piles ont été insérées dans le clavier. Insérez correctement les piles dans le clavier, puis appuyez sur le bouton CONNECT du récepteur. Ensuite, dans les 10 secondes, appuyez sur le bouton CONNECT du clavier. Assurez-vous que le clavier et le récepteur ne sont pas trop éloignés (dans un rayon de 30 cm) lorsque vous appuyez sur le bouton.
Le dispositif de pointage ne fonctionne pas.	➔ Le commutateur POINTING DEVICE est réglé sur OFF. Réglez-le sur ON. • Vérifiez que des piles ont été insérées dans le clavier. ➔ Insérez correctement de nouvelles piles dans le clavier, puis appuyez sur le bouton CONNECT du récepteur. Ensuite, dans les 10 secondes, appuyez sur le bouton CONNECT du clavier. Assurez-vous que le clavier et le récepteur ne sont pas trop éloignés (dans un rayon de 30 cm) lorsque vous appuyez sur le bouton. • Vérifiez que les piles ne sont pas épuisées. ➔ Pour savoir si les piles sont épuisées, vérifiez l'indicateur de piles situé dans le coin supérieur droit du clavier. Si les piles sont épuisées, remplacez-les, conformément à la section « Insertion des piles dans le clavier » (page 9). • Vérifiez que le commutateur d'alimentation du clavier est réglé sur ON. • Lorsque plusieurs claviers VGP-WKB1 sont utilisés, ils risquent de ne pas fonctionner correctement en raison d'interférences radio. ➔ Dans ce cas, effectuez les étapes suivantes : **1** Retirez les piles du clavier pendant au moins une minute. **2** Insérez de nouveau les piles dans le clavier, puis appuyez sur le bouton CONNECT du récepteur. **3** Ensuite, dans les 10 secondes, appuyez sur le bouton CONNECT du clavier. Assurez-vous que le clavier et le récepteur ne sont pas trop éloignés (dans un rayon de 30 cm) lorsque vous appuyez sur le bouton. Lorsque vous utilisez plusieurs claviers VGP-WKB1, installez les claviers l'un après l'autre. Si plusieurs claviers VGP-WKB1 sont en cours d'installation, il risque d'y avoir des interférences radio. ➔ Le dispositif de pointage détecte la pression de votre doigt et se déplace en conséquence. Si le pointeur est lent, appuyez plus fermement sur le dispositif de pointage.

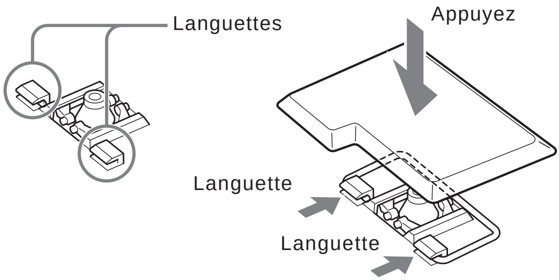
suite

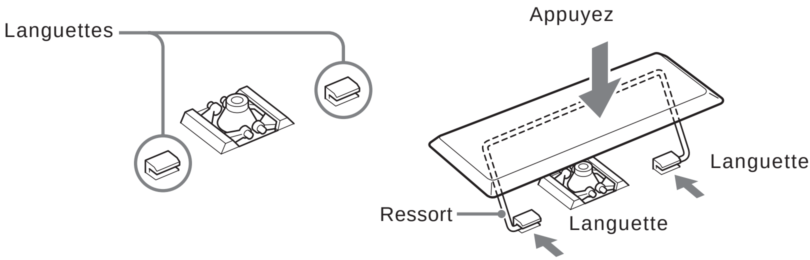
Si une touche se détache du clavier

Si la touche Enter, Shift ou SPACEBAR se détache du clavier, fixez-la de nouveau comme dans les illustrations suivantes. Si une autre touche se détache, remettez-la dans sa position d'origine, puis appuyez dessus jusqu'à ce qu'elle s'encliquette.

Fixation de la touche Enter, Shift ou SPACEBAR

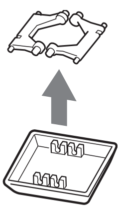
Retirez le ressort de la touche, puis accrochez-le aux languettes. Alignez la touche, puis appuyez dessus jusqu'à ce qu'elle s'encliquette.



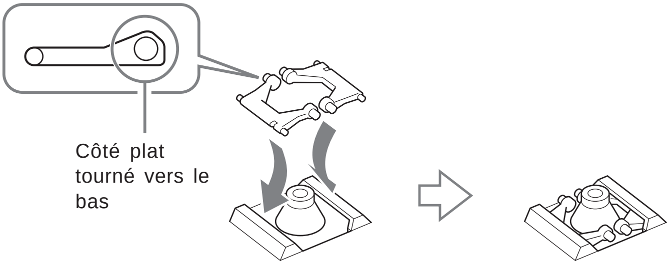


Si le ressort en plastique se détache avec la touche, fixez-le de nouveau conformément aux étapes suivantes :

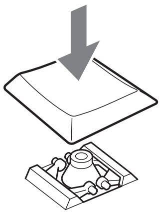
1 Retirez le ressort en plastique de la touche.



2 Posez le ressort côté plat tourné vers le bas, puis vérifiez son orientation avant de le fixer de nouveau sur le clavier.



3 Remettez la touche dans sa position d'origine, puis appuyez dessus jusqu'à ce qu'elle s'encliquette.



Remarques

- Ne retirez pas délibérément les touches. Vous risqueriez d'endommager le clavier.
- Prenez garde à ne pas appliquer une trop grande pression lorsque vous remettez les touches. Vous risqueriez d'endommager le clavier. Manipulez le clavier avec précaution.

Deutsch

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Dieses Produkt umfasst die folgenden Funkgeräte: Tastatur (VGP-WKB1/U*), Maus (VGP-WMS1) und Empfänger (VGP-WRC1)

* An den Modellnamen der Tastatur wird noch eine Nummer angehängt.

Für Kunden in Europa

Hiermit erklärt die Sony Corporation, dass dieses Produkt die grundlegenden Anforderungen und sonstigen relevanten Bestimmungen der Richtlinie 1999/5/EG erfüllt.

Die Konformitätserklärung (Declaration of Conformity (DoC)) für die R&TTE-Richtlinie finden Sie unter folgender URL-Adresse:
http://www.compliance.sony.de/

Dieses Gerät erfüllt die folgenden europäischen Richtlinien:
89/336/EWG, 92/31/EWG (EMV-Richtlinien) und 93/68/EWG (Richtlinie zum CE-Zeichen)
Dieses Produkt entspricht den europäischen Normen EN55022 Klasse B und EN55024 für die Verwendung in folgenden Gebieten:
Wohngebiete, Gewerbegebiete und Leichtindustriegebiete.
Es entspricht außerdem der Norm EN 60825-1 und wurde als LED-Gerät der KLASSE 1 klassifiziert.
Reparaturen und Wartungsarbeiten dürfen nur von autorisierten Sony-Fachleuten durchgeführt werden. Unsachgemäßer Gebrauch und fehlerhafte Reparaturen können zu einem Sicherheitsrisiko werden.

Dieses Gerät wurde geprüft und erfüllt die EMV-Richtlinie, sofern ein Verbindungskabel von maximal 3 m Länge verwendet wird.

Schauen Sie nicht direkt in das rote Licht an der Unterseite der Maus. Dies kann die Augen schädigen.

Dieses Gerät kann in folgenden Ländern verwendet werden: Belgien, Dänemark, Deutschland, Finnland, Frankreich, Griechenland, Großbritannien, Irland, Island, Italien, Luxemburg, Niederlande, Norwegen, Österreich, Portugal, Schweden, Schweiz, Spanien und Tschechische Republik.

Inhalt

Einführung

Lesen Sie diese Anleitung vor Inbetriebnahme der Tastatur und der Maus bitte genau durch und bewahren Sie sie zum späteren Nachschlagen sorgfältig auf.
Die Funktastatur ist für die Verwendung mit VAIO®-Computern von Sony konzipiert, auf denen Windows XP Home Edition oder Windows XP Professional läuft (mit Ausnahme der PCV-LX-Serie). Bei anderen Computern wird die Tastatur nicht unterstützt.

Hinweis

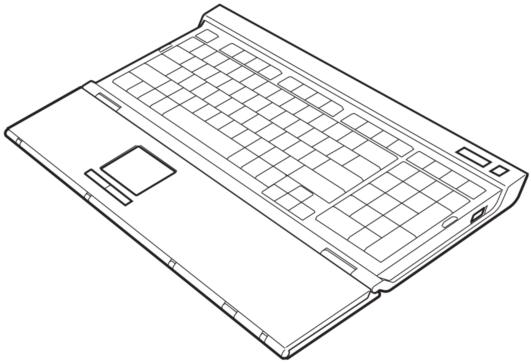
Wenn Sie dieses Produkt zusammen mit einem Computer mit integriertem Funkempfänger einsetzen, schließen Sie den mit diesem Produkt gelieferten Empfänger an den Computer an.

DE

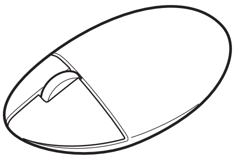
Überprüfen der mitgelieferten Teile

Überprüfen Sie bitte, ob folgende Teile mitgeliefert wurden. Sollte eins der unten aufgeführten Teile beschädigt sein oder fehlen, schlagen Sie unter „Hilfe und Support“ auf Seite 22 nach.

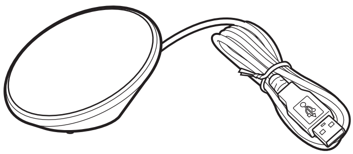
- Funktastatur mit Zeigegerät (im Folgenden als Tastatur bezeichnet) (1)



- Funkmaus (im Folgenden als Maus bezeichnet) (1)



- Empfänger (1)



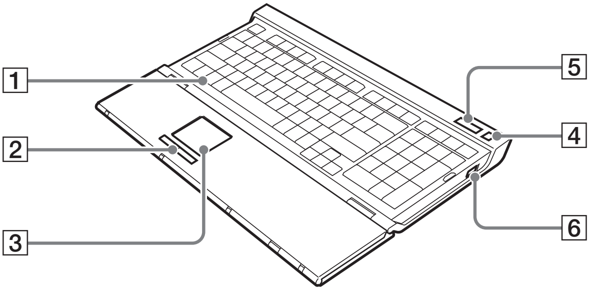
- R6-Manganbatterien (Größe AA) (6)
- Bedienungsanleitung (dieses Dokument) (1)
- Garantiekarte (1)

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Tastatur*

* Das Tastaturlayout und die Sonderzeichen variieren je nach Land oder Region.

Draufsicht



1 Windows-Taste

Das Windows-Menü „Start“ wird angezeigt.

2 Linke/rechte Taste

Diese fungieren als linke und rechte Maustaste.

3 Zeigegerät

Hiermit steuern Sie den Bildschirmzeiger zum Klicken und Ziehen sowie weitere Funktionen.

4 Bereitschaftstaste

Drücken Sie bei eingeschalteter Tastatur diese Taste, um in den Bereitschaftsmodus zu schalten. Drücken Sie die Taste erneut, um den Bereitschaftsmodus zu beenden.

5 Anzeigen

- Batterieanzeige
  Wenn die Batterien in der Tastatur über ausreichend Ladung verfügen, wird ▭ angezeigt. ▭ wird angezeigt, wenn die Batterien fast erschöpft sind.

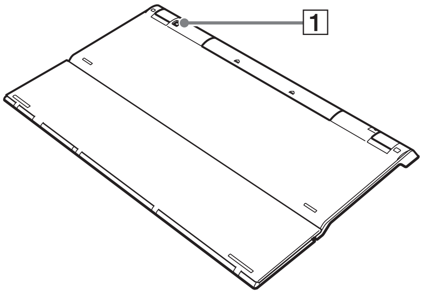
Bitte wenden

- Num-Anzeige
  Leuchtet, wenn der Ziffernblock aktiviert ist.
- Feststellanzeige
  Leuchtet, wenn der Modus für Großbuchstaben aktiviert ist.
- Rollen-Anzeige
  Leuchtet, wenn der Rollen-Modus aktiviert ist.

6 Netzschalter POWER

Zum Ein-/Ausschalten der Tastatur.

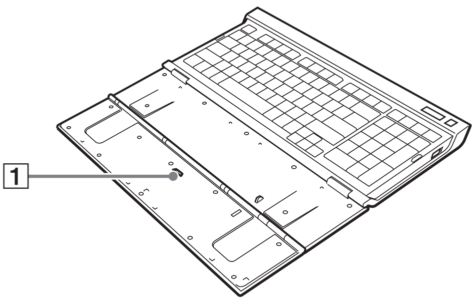
Unterseite



1 Taste CONNECT

Dient zum Aktivieren der Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger.

Mit aufgeklappter Handauflage

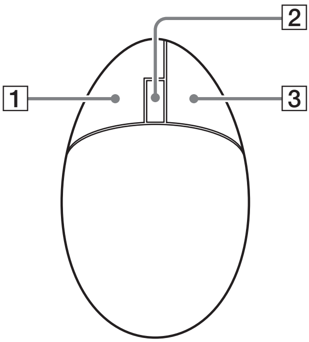


1 Schalter POINTING DEVICE

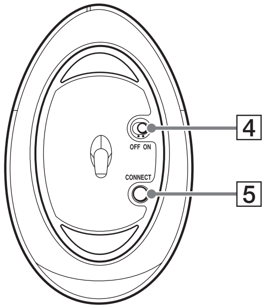
Zum Ein-/Ausschalten des Zeigegeräts.

Maus

Draufsicht



Unterseite



1 **Linke Taste**

2 **Mausrad**

3 **Rechte Taste**

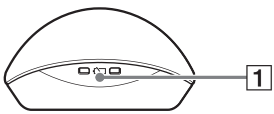
4 **Netzschalter ON/OFF**

Zum Ein-/Ausschalten der Maus.

5 **Taste CONNECT**

Dient zum Aktivieren der Kommunikation zwischen der Maus und dem Empfänger.

Rückseite



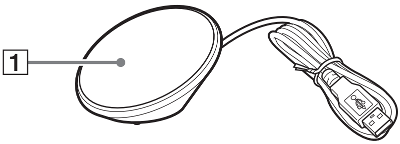
1 **Anzeige für erschöpfte Batterien**

Blinkt, wenn die Batterien in der Maus schwächer werden.

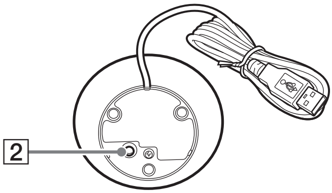
Bitte wenden

Empfänger

Draufsicht



Unterseite



1 Lichtempfindlicher Bereich

2 Taste CONNECT

Dient zum Aktivieren der Kommunikation zwischen der Tastatur bzw. der Maus und dem Empfänger.

Vorbereitungen

Hinweis

Beachten Sie bitte folgende Sicherheitsmaßnahmen, um das Auslaufen von Batterieflüssigkeit, das Explodieren von Batterien und andere schwere Schäden zu vermeiden.

- Legen Sie die Batterien polaritätsrichtig ein. Die Pole +/- müssen an den Markierungen +/- ausgerichtet sein.
- Verwenden Sie nicht alte und neue Batterien oder Batterien verschiedenen Typs zusammen.
- Versuchen Sie nicht, Trockenbatterien aufzuladen.
- Wenn Sie die Maus längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus.
- Ist eine Batterie ausgelaufen, wischen Sie das Batteriefach sorgfältig trocken und tauschen Sie die Batterien gegen neue aus.
- Handelsübliche Akkus können nicht verwendet werden. Verwenden Sie ausschließlich normale Trockenbatterien. Bei Verwendung von Akkus können diese auslaufen und es besteht die Gefahr von Verletzungen bzw. Sachschäden.

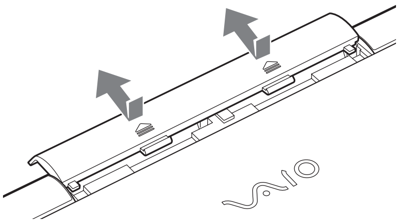
Tipp

Überprüfen Sie die restliche Batterieladung anhand der Batterieanzeige und der Anzeige für erschöpfte Batterien. Tauschen Sie die Batterien aus, wenn sie schwächer werden. Stellen Sie den Netzschalter auf OFF, wenn Sie die Tastatur bzw. die Maus nicht verwenden. So halten die Batterien länger.

Einlegen von Batterien in die Tastatur

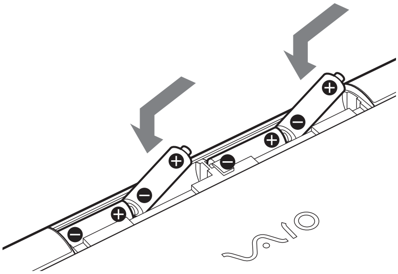
1 Stellen Sie den Netzschalter POWER der Tastatur auf OFF.

2 Öffnen Sie die Abdeckung an der Rückseite der Tastatur.



Bitte wenden

3 Legen Sie vier der mitgelieferten R6-Batterien (Größe AA) oder vier R6-Alkalibatterien (Größe AA) (nicht mitgeliefert) ein. Achten Sie auf die richtige Ausrichtung der Pole ⊕ ⊖.

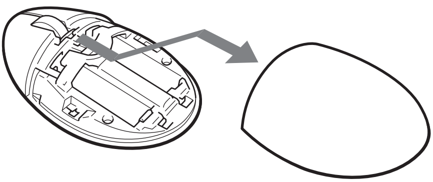


4 Schließen Sie die Abdeckung.

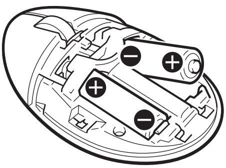
Einlegen von Batterien in die Maus

1 Stellen Sie den Netzschalter ON/OFF an der Maus auf OFF.

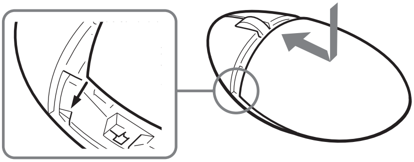
2 Öffnen Sie die Batteriefachabdeckung.



3 Legen Sie zwei der mitgelieferten R6-Batterien (Größe AA) oder zwei R6-Alkalibatterien (Größe AA) (nicht mitgeliefert) ein. Achten Sie auf die richtige Ausrichtung der Pole ⊕ ⊖.

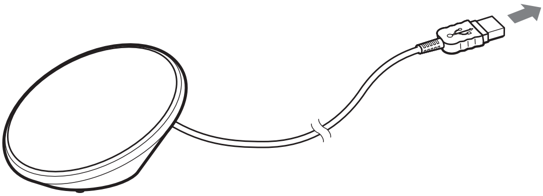


4 Schließen Sie die Batteriefachabdeckung.



Anschließen des Empfängers an den Computer

Schließen Sie den Empfänger mit dem Empfängerkabel an den Computer an.



Wenn Sie den Empfänger zum ersten Mal an den Computer anschließen

Wenn Sie den Empfänger zum ersten Mal an den Computer anschließen, installiert das Windows-Betriebssystem automatisch den USB-Standardgerätetreiber.

Hinweise

- Treiber für USB-Geräte müssen für jeden verwendeten Anschluss installiert werden. Wenn Sie den Empfänger an einen anderen USB-Anschluss am Computer anschließen, wird die Treiberinstallation für diesen USB-Anschluss erneut ausgeführt.
- Schließen Sie den Empfänger ausschließlich an einen integrierten USB-Anschluss an. Schließen Sie den Empfänger nicht an einen externen USB-Hub an.

Bitte wenden

Aktivieren der Kommunikation zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger

Hinweis

Stellen Sie die Tastatur und den Empfänger innerhalb der in den technischen Daten genannten Kommunikationsreichweite auf.

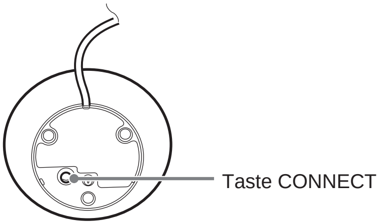
1 Stellen Sie den Netzschalter POWER an der Tastatur auf ON.

2 Stellen Sie den Schalter POINTING DEVICE an der Tastatur auf ON.

3 Stellen Sie den Netzschalter ON/OFF an der Maus auf ON.

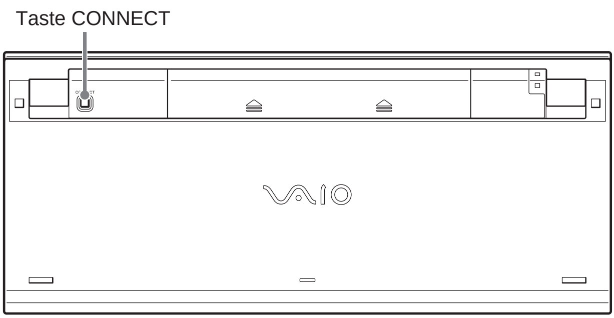
4 Drücken Sie die Taste CONNECT am Empfänger.

Es kann bis zu 30 Sekunden dauern, bis der Empfänger die Tastatur und die Maus erkennt.



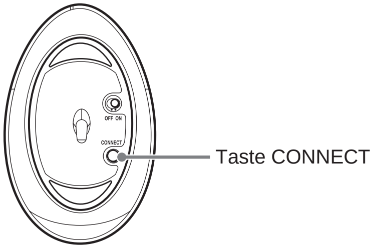
5 Drücken Sie die Taste CONNECT an der Tastatur.

Die Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger beginnt.



6 Drücken Sie die Taste CONNECT am Empfänger erneut.

7 Drücken Sie die Taste CONNECT an der Maus.



Die Kommunikation zwischen der Maus und dem Empfänger beginnt.

Hinweis

Wenn in der Nähe eine weitere Funktastatur VGP-WKB1 verwendet wird, kann sie die Kommunikation zwischen der Tastatur bzw. der Maus und dem Empfänger stören. Aktivieren Sie die Kommunikation zu einem anderen Zeitpunkt oder stellen Sie die Geräte weiter entfernt voneinander auf.

Wenn Sie Tastatur und Maus nicht mehr verwenden wollen

Trennen Sie das Empfängerkabel vom USB-Anschluss am Computer.
Sie können das Empfängerkabel anschließen und lösen, ohne den Computer auszuschalten. Um die Batterien zu schonen, sollten Sie die Tastatur und die Maus ausschalten, wenn Sie sie nicht gebrauchen.

Überprüfen der Kommunikation

Führen Sie die folgenden Schritte bei angeschlossenem Empfänger aus.

1 Drücken Sie die Windows-Taste auf der Tastatur und überprüfen Sie, ob das Menü „Start“ angezeigt wird.

2 Bewegen Sie den Finger über das Zeigegerät und überprüfen Sie, ob sich der Zeiger auf dem Bildschirm in der gleichen Richtung bewegt.

3 Bewegen Sie die Maus und überprüfen Sie, ob sich der Zeiger auf dem Bildschirm in der gleichen Richtung bewegt.

Wenn sich der Zeiger in den Schritten oben nicht entsprechend bewegt, ist die Kommunikation nicht richtig aktiviert. Gehen Sie wie in den Schritten unter „Aktivieren der Kommunikation zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger“ erläutert vor (Seite 12).

Verwenden der Funktastatur

Taste	Funktion
Taste ☾ (Bereitschaft)	Drücken Sie bei eingeschalteter Tastatur diese Taste, um in den Bereitschaftsmodus zu schalten. Drücken Sie die Taste erneut, um vom Bereitschaftsmodus in den normalen Betriebsmodus zurückzuschalten.
Fn+NumLk	Aktiviert den Rollen-Modus. Was der Rollen-Modus bewirkt, hängt von der verwendeten Software ab. Nähere Erläuterungen finden Sie in der Hilfe zur jeweiligen Software.
Fn+↑	Bild-auf-Funktion. Die Seite über der zurzeit angezeigten Seite wird angezeigt.
Fn+→	Ende-Funktion. Bewegt den Einfügepunkt an das Ende einer Zeile bzw. Seite.
Fn+↓	Fungiert als Bild-ab-Taste. Die Seite unter der zurzeit angezeigten wird angezeigt.
Fn+←	Pos1-Funktion. Bewegt den Einfügepunkt an den Anfang einer Zeile bzw. Seite.
Fn+F2	Stummschaltung
Fn+F3	Verringern der Lautstärke
Fn+F4	Erhöhren der Lautstärke

Hinweis

Wenn Sie die Lautstärke mit der Fn-Taste ändern, werden die Änderungen nicht am Bildschirm angezeigt. Sie können sie jedoch unter „Lautstärkeregelung“ überprüfen.

Tipp

Die folgenden Zusatztastenfunktionen stehen bei VAIO-Computern der PCV-V-Serie sowie bei PCs der Serie VGC-V zur Verfügung.

- Fn+F5: Verringert die Helligkeit des Bildschirms.
- Fn+F6: Erhöht die Helligkeit des Bildschirms.

Wenn Sie die Zusatztastenfunktionen nutzen möchten, laden Sie die Software zum Einstellen der Bildschirmhelligkeit herunter. Nähere Erläuterungen finden Sie auf der unter „Hilfe und Support“ genannten Website (Seite 22).

Anzeige	Funktion
▭/▭ (Batterieanzeige)	Wenn die Batterien in der Tastatur über ausreichend Ladung verfügen, wird ▭ angezeigt. ▭ wird angezeigt, wenn die Batterien fast erschöpft sind. Wenn ▭ blinkt, ist die Batterieladung ausreichend, aber die Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger wurde beendet. Wenn ▭ blinkt, ist die Batterieladung nicht ausreichend und die Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger wurde beendet. Wenn ▭ und ▭ blinken, stellt die Tastatur die Kommunikation mit dem Empfänger her.
Num-Anzeige	Leuchtet, wenn der Ziffernblock aktiviert ist.
Feststellanzeige	Leuchtet, wenn der Modus für Großbuchstaben aktiviert ist.
Rollen-Anzeige	Leuchtet, wenn der Rollen-Modus aktiviert ist.

Wenn alle Anzeigen leuchten oder blinken

Wenn alle Anzeigen leuchten, wird die Tastatur initialisiert.

Wenn alle Anzeigen blinken, konnte die Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger nicht hergestellt werden.

Hinweise

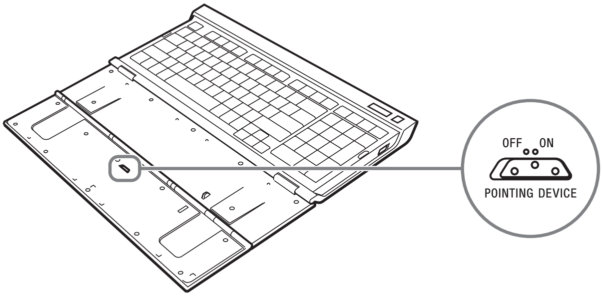
- Wenn die Tastatur mehr als 20 Minuten lang nicht verwendet wird, schalten sich die Anzeigen aus und die Kommunikation zwischen der Tastatur und dem Empfänger wird möglicherweise beendet. Drücken Sie in diesem Fall die Fn-Taste und achten Sie darauf, dass ▭ oder ▭ angezeigt wird, bevor Sie die Geräte verwenden.
- Aktivieren der Tastatur aus dem Bereitschaftsmodus
  Bei einem Desktop-Computer:
  Drücken Sie die Taste ☾ (Bereitschaft), um den Bereitschaftsmodus zu beenden, und achten Sie darauf, dass die Anzeige erscheint. Wenn die Anzeige nicht erscheint, drücken Sie die Taste ☾ (Bereitschaft) erneut.

  Bei einem Notebook-Computer:
  Drücken Sie eine beliebige Taste am Notebook-Computer, um vom Bereitschaftsmodus in den normalen Betriebsmodus zurückzuschalten.

Bitte wenden

Grundfunktionen

Wenn Sie das Zeigegerät verwenden wollen, klappen Sie die Handauflage auf und stellen den Schalter POINTING DEVICE auf ON.



Der Zeiger am Bildschirm folgt den Bewegungen des Fingers auf dem Zeigegerät.

Mit dem Zeigegerät können Sie den Bildschirmzeiger steuern und folgende Funktionen ausführen.

Klicken

Stellen Sie den Zeiger an die gewünschte Stelle und drücken Sie die linke Taste unter dem Zeigegerät.
Zum Ausführen des Klickens können Sie auch leicht auf das Zeigegerät tippen.

Doppelklicken

Stellen Sie den Zeiger an die gewünschte Stelle und drücken Sie die linke Taste unter dem Zeigegerät zweimal schnell hintereinander.
Zum Ausführen des Doppelklickens können Sie auch leicht zweimal auf das Zeigegerät tippen.

Klicken mit rechter Maustaste

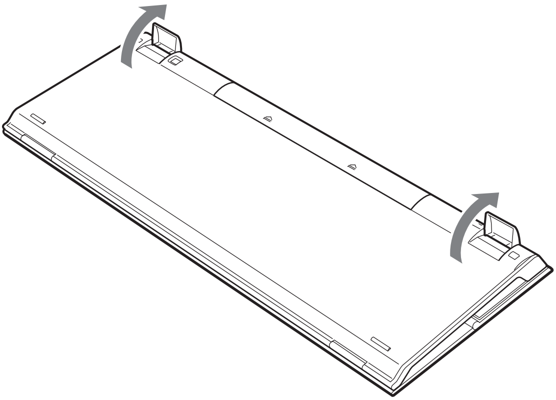
Stellen Sie den Zeiger an die gewünschte Stelle und drücken Sie einmal die rechte Taste.
Je nach dem, wo sich der Zeiger befindet, wird möglicherweise ein Kontextmenü mit verschiedenen Optionen angezeigt.

Hinweise

- Das Zeigegerät reagiert auf Fingerdruck und der Zeiger wird entsprechend bewegt. Wenn der Zeiger zu langsam reagiert, drücken Sie fester auf das Zeigegerät.
- Sie können mit dem Zeigergerät auf der Tastatur den Zeiger bewegen und die linke und rechte Taste betätigen. Einen Bildlauf und weitere Funktionen können Sie damit nicht ausführen.

Aufklappen der Tastaturfüße

Klappen Sie die Füße an der Tastatur auf, um das Schreiben auf der Tastatur zu erleichtern.



Hinweis

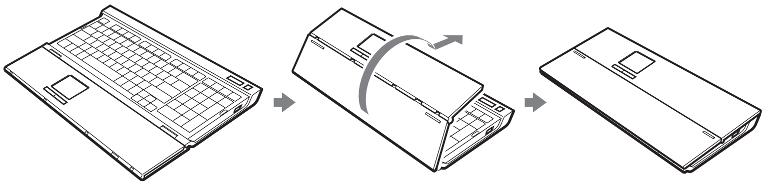
Achten Sie darauf, die Laschen beim Auf- und Zuklappen der Tastaturfüße nicht abzubrechen.

Bitte wenden

Handauflage

Klappen Sie die Handauflage auf sich zu, um die Handgelenke bei der Arbeit mit der Tastatur zu entlasten.

Klappen Sie die Handauflage als Abdeckung über die Tastatur, wenn Sie sie nicht verwenden.

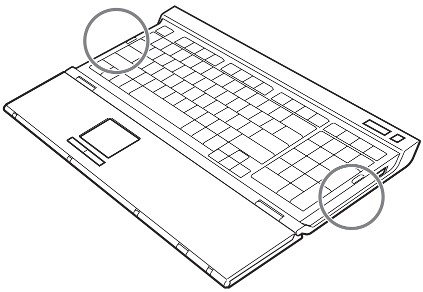


Tipp

Das Zeigegerät kann auch verwendet werden, wenn die Handauflage über die Tastatur geklappt ist.

Hinweise

- Klappen Sie die Handauflage nicht gewaltsam zu weit auf.
- Wenn Sie die Handauflage auf einer ebenen Oberfläche, wie z. B. einem Schreibtisch, verwenden, stellen Sie die Tastatur so auf, dass die Handauflage nicht über die Schreibtischkante ragt.
- Halten Sie die Tastatur beim Tragen nicht an der Handauflage. Fassen Sie die Tastatur mit beiden Händen, wenn Sie sie tragen.



Verwenden der Funkmaus

Wenn Sie die Maus bewegen, bewegt sich der Zeiger auf dem Bildschirm in die gleiche Richtung.
In diesem Abschnitt werden die grundlegenden Mausfunktionen und die Verwendung des Mausrades erläutert.

Hinweis

Die optische Maus funktioniert auf folgenden Oberflächen möglicherweise nicht richtig:

- Durchsichtigen Oberflächen (Glas usw.)
- Oberflächen, die Licht reflektieren (z. B. hochglanzlackierte Furniere oder Spiegel)
- Oberflächen mit immer wiederkehrendem Muster, wie z. B. einem Raster (ähnlich wie bei gedruckten Fotos in Zeitschriften und Zeitungen)
- Gestreiften Oberflächen oder anderen stark gemusterten Oberflächen mit hohem Kontrast

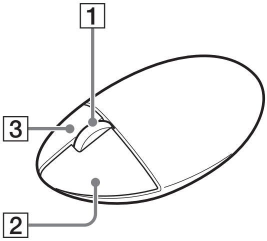
Wenn sich der Zeiger nicht gleichmäßig über den Bildschirm bewegt, vergewissern Sie sich, dass Sie die Maus nicht auf einer der oben genannten Oberflächen verwenden.

Tipp

Bei Bedarf können Sie die Geschwindigkeit des Mauszeigers im Dialogfeld „Eigenschaften von Maus“ einstellen. Zum Aufrufen des Dialogfelds „Eigenschaften von Maus“ klicken Sie auf „Start“, „Systemsteuerung“, „Drucker und andere Hardware“ und wählen dann „Maus“.

Bitte wenden

Grundfunktionen



1 **Mausrad**

Mit dem Mausrad können Sie in Fenstern problemlos einen Bildlauf nach oben bzw. unten durchführen. Wenn Sie auf das Mausrad drücken, wird ein automatischer Bildlauf ausgeführt.

2 **Linke Taste**

Dient zum Öffnen gespeicherter Dokumente, Bilder und anderer Dateien sowie zum Ausführen von Programmen. Die meisten Mausfunktionen führen Sie mit dieser Taste aus.

3 **Rechte Taste**

Mit dieser Taste können Sie Kontextmenüs anzeigen, in denen Ihnen Optionen zum Kopieren gespeicherter Dokumente, Bilder und anderer Dateien, zum Anzeigen von Detailinformationen zu Dateien sowie verschiedene weitere Befehle und Einstellungen zur Verfügung stehen.

Vorsichtsmaßnahmen

Reichweite der Tastatur und der Maus

Die maximale Reichweite zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger beträgt 10 m. Je nach Betriebsumgebung ist die Reichweite unter Umständen kürzer, so dass ein normales Arbeiten nicht möglich ist. Führen Sie in diesem Fall folgende Maßnahmen durch:

- Stellen Sie sicher, dass sich Tastatur und Maus mindestens 20 cm vom Computer, vom Bildschirm und von anderen elektronischen Geräten entfernt befinden.
- Stellen Sie den Empfänger näher an der Tastatur und der Maus auf.
- Verwenden Sie ein Mauspad.

Sicherheit

Wenn Flüssigkeiten oder Fremdkörper in die Tastatur oder die Maus gelangen, schalten Sie sie aus und lassen sie von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie sie wieder benutzen.

Empfindlichkeit des Zeigegeräts

Die Empfindlichkeit des Zeigegeräts auf der Tastatur kann sich von der des Zeigegeräts des Computers unterscheiden.

Aufstellung

Stellen Sie die Tastatur und die Maus nicht an folgenden Orten auf:

- Auf einer instabilen Oberfläche
- An einem sehr feuchten Ort oder an einem Ort ohne ausreichende Belüftung
- An einem Ort mit übermäßiger Staubentwicklung
- An einem Ort, der direktem Sonnenlicht oder großer Hitze ausgesetzt ist
- An einem Ort, der großer Kälte ausgesetzt ist

Betrieb

Werden die Tastatur und die Maus direkt von einem kalten in einen warmen Raum gebracht oder befinden sie sich in einem Raum mit hoher Luftfeuchtigkeit, kann sich in der Tastatur bzw. der Maus Feuchtigkeit niederschlagen. In diesem Fall funktionieren die Tastatur und die Maus möglicherweise nicht mehr richtig. Warten Sie in diesem Fall ca. 30 Minuten, bis die Feuchtigkeit verdunstet ist. Wenn die Tastatur bzw. die Maus nach einer Stunde nicht ordnungsgemäß funktioniert, wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler.

Transportieren der Tastatur

Wenn Sie die Tastatur transportieren wollen, klappen Sie die Handauflage zu. Halten Sie die Tastatur beim Tragen nicht an der Handauflage.

Reinigen des Gehäuses der Tastatur bzw. der Maus

- Reinigen Sie die Tastatur und die Maus mit einem weichen, trockenen Tuch oder einem weichen Tuch, das Sie leicht mit einer milden Reinigungslösung angefeuchtet haben. Verwenden Sie keine Scheuerschwämme, Scheuermittel oder Lösungsmittel wie Alkohol oder Benzin. Diese könnten das Gehäuse angreifen.
- Nehmen Sie zum Reinigen der Maus immer die Batterien heraus.

Hilfe und Support

In diesem Abschnitt finden Sie Informationen zu Hilfe und Support von Sony sowie Tipps zur Störungsbehebung bei der Tastatur bzw. der Maus.

Sony-Supportoptionen

Sony bietet für die Geräte mehrere Supportoptionen an. Bei Fragen zur Tastatur bzw. zur Maus finden Sie hier weitere Informationen:

- ❑ **In dieser Anleitung** wird die Verwendung von Tastatur und Maus erläutert.

Für Kunden in den USA und Kanada

- ❑ **Der Online-Support von Sony** ermöglicht den sofortigen Zugriff auf Informationen über Probleme, die häufiger auftreten. Geben Sie eine Problembeschreibung an und durchsuchen Sie die Wissensdatenbank online nach passenden Abhilfemaßnahmen.
  Der Online-Support von Sony steht unter folgendem URL zur Verfügung:
  http://www.sony.com/pcsupport

- ❑ **Unter der Nummer des Sony-Kundeninformationscenters** erhalten Sie Informationen zur Tastatur und zur Maus sowie zu anderen Sony-Produkten, die mit der Tastatur und der Maus eingesetzt werden können. Das Sony-Kundeninformationscenter erreichen Sie unter 1-888-4SONYPC (1-888-476-6972).

Für Kunden in Europa

- ❑ **VAIO-Link.** Adressen und Telefonnummern finden Sie unter **http://www.vaio-link.com/**

Für Kunden in anderen Regionen

- ❑ **Auf der VAIO-Website** finden Sie Antworten auf häufig gestellte Fragen: **http://vaio-online.sony.com/**

Technische Daten

Funktastatur

Schnittstelle
Digitale Funkübertragung

Tastenabstand
19,05 mm

Tastenanschlag
3 mm

Stromversorgung
6 V Gleichstrom (vier R6-Batterien (Größe AA))

Funkfrequenzbereich
2,4 GHz

Eingabegerät
Zeigegerät, Tastatur

Kommunikationsreichweite
max. 10 m, Sichtlinie

Gewicht
ca. 1.130 g (einschl. Batterien)

Abmessungen
Handauflage zugeklappt:
ca. 400 × 31 × 173 mm (B × H × T)
Handauflage aufgeklappt:
ca. 400 × 25 × 249 mm (B × H × T)

Funkmaus

Schnittstelle
Digitale Funkübertragung

Positionsbestimmung
Optischer Sensor

Sensorauflösung
800 cpi (counts per inch)

Funkfrequenzbereich
2,4 GHz

Stromversorgung
3 V Gleichstrom (zwei R6-Batterien (Größe AA))

Gewicht
ca. 120 g (einschl. Batterien)

Abmessungen
ca. 70 × 37 × 113 mm (B × H × T)

Funkempfänger

Schnittstelle
USB A

Kabellänge
200 cm

Funkfrequenzbereich
2,4 GHz

Kommunikationsreichweite
max. 10 m, Sichtlinie

Gewicht
ca. 140 g

Abmessungen
ca. 84 × 42 × 77 mm (B × H × T)

Sonstiges

Unterstützte Modelle
VAIO-Computer von Sony mit Windows XP als Betriebssystem. Die VAIO-Serie PCV-LX von Sony wird nicht unterstützt.

Betriebstemperatur
5°C bis 35°C (Temperaturschwankungen von unter 10°C/Stunde)

Luftfeuchtigkeit bei Betrieb
20% bis 80% (nicht kondensierend). Bei einer Temperatur von 35°C muss die Luftfeuchtigkeit unter 65% liegen (Hygrometerstand unter 29°C)

Lagertemperatur
–20°C bis 60°C (Temperaturschwankungen von unter 10°C/Stunde)

Bitte wenden

Luftfeuchtigkeit bei Lagerung

10% bis 90% (nicht kondensierend). Bei einer Temperatur von 60°C muss die Luftfeuchtigkeit unter 20% liegen (Hygrometerstand unter 35°C).

Zubehör

Funkmaus (1)
Empfänger (1)
R6-Manganbatterien* (Größe AA) (6)
Bedienungsanleitung (dieses Dokument)
Garantiekarte (1)

* Verwenden Sie Alkalibatterien, wenn Sie eine längere Mausbetriebsdauer erzielen möchten.

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Störungsbehebung

Sollten an der Tastatur bzw. der Maus Störungen auftreten, versuchen Sie, diese anhand der folgenden Checkliste zu beheben. Sollte eine Störung bestehen bleiben, wenden Sie sich an Ihren Sony-Händler.

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahme
Nichts geschieht, wenn Sie eine Maustaste drücken.	• Der Empfänger ist nicht richtig an den USB-Anschluss angeschlossen. ➔ Schließen Sie alle Anwendungen, schließen Sie den Empfänger richtig an den Computer an und aktivieren Sie die Kommunikation zwischen der Tastatur bzw. der Maus und dem Empfänger erneut. • Ein nicht kompatibles Betriebssystem wird verwendet. ➔ Verwenden Sie ein unterstütztes Betriebssystem. • Der USB-Anschluss steht nicht zur Verfügung. ➔ Überprüfen Sie die „Systemeigenschaften“ des Computers. • Die Batterien in der Maus sind erschöpft. ➔ Wenn sich die Maus nicht einschaltet, sobald Sie den Netzschalter ON/OFF auf ON stellen, tauschen Sie die Batterien aus. Nähere Erläuterungen finden Sie unter „Vorbereitungen“ (Seite 9). • Die Maus und der Empfänger kommunizieren nicht miteinander. ➔ Gehen Sie wie unter „Aktivieren der Kommunikation zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger“ erläutert vor, um eine ordnungsgemäße Kommunikation sicherzustellen (Seite 12). ➔ In bestimmten Betriebsumgebungen ist die Reichweite unter Umständen erheblich kürzer, so dass ein normales Arbeiten nicht möglich ist. Stellen Sie sicher, dass sich der Empfänger mindestens 20 cm vom Computer, vom Bildschirm und von anderen elektronischen Geräten entfernt befindet. ➔ Wenn die Maus zu weit vom Empfänger entfernt ist, ist keine Kommunikation möglich. Verringern Sie den Abstand zwischen Maus und Empfänger. • Die Maus wird auf einer ungeeigneten Oberfläche verwendet. ➔ Wenn Sie die Maus auf einer spiegelnden Oberfläche, auf Glas, einer anderen glänzenden Oberfläche oder auf einer durchsichtigen bzw. stark gemusterten Oberfläche verwenden, erkennt der Sensor an der Unterseite der Maus die Mausbewegungen möglicherweise nicht richtig. Verwenden Sie in diesem Fall ein Mauspad.

Bitte wenden

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahme
Die Taste CONNECT wurde gedrückt, aber es ist keine Kommunikation möglich.	➔ Überprüfen Sie, ob Batterien in die Tastatur und die Maus eingelegt sind. Nähere Erläuterungen finden Sie unter „Vorbereitungen“ (Seite 9). ➔ Wenn der Netzschalter an der Tastatur bzw. der Maus auf OFF gestellt ist, ist die Kommunikation mit dem Empfänger nicht möglich. Überprüfen Sie die Schalterstellung an der Rückseite der Maus und der Seite der Tastatur. ➔ Wenn der Netzschalter an der Tastatur bzw. der Maus auf ON gestellt ist und sich die Geräte trotzdem nicht einschalten, sind möglicherweise die Batterien erschöpft. Tauschen Sie die Batterien aus. Nähere Erläuterungen finden Sie unter „Vorbereitungen“ (Seite 9). ➔ Die Kommunikation zwischen der Tastatur bzw. der Maus und dem Empfänger wurde möglicherweise nicht richtig hergestellt. Sie müssen die Taste CONNECT an der Tastatur und der Maus innerhalb von 10 Sekunden drücken, nachdem Sie die Taste CONNECT am Empfänger gedrückt haben. Andernfalls beendet der Empfänger die Kommunikation. Aktivieren Sie die Kommunikation in diesem Fall erneut. Nähere Erläuterungen finden Sie unter „Aktivieren der Kommunikation zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger“ (Seite 12). ➔Wenn die Tastatur und die Maus zu weit vom Empfänger entfernt sind, ist keine Kommunikation möglich. Die maximale Kommunikationsreichweite zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger beträgt etwa 10 m. Wenn Sie die Geräte auf einem Metalltisch verwenden oder sich Hindernisse zwischen Tastatur, Maus und Empfänger befinden, ist die Reichweite möglicherweise geringer.
Die Bildlauffunktionen des Mausrades stehen nicht zur Verfügung.	• Ein nicht kompatibles Betriebssystem wird verwendet. ➔ Verwenden Sie ein unterstütztes Betriebssystem. • Die Bildlauffunktionen des Mausrades stehen in der verwendeten Anwendung nicht zur Verfügung. ➔ Die Bildlauffunktionen des Mausrades stehen nur in Anwendungen mit Bildlaufleisten zur Verfügung. ➔ Bildlauffunktionen mit dem Mausrad werden nicht in allen Anwendungen unterstützt. • Der Empfänger wurde im Energiesparmodus angeschlossen und der Computer wurde mittlerweile in den normalen Betriebsmodus zurückgeschaltet. ➔ Trennen Sie den Empfänger vom USB-Anschluss, warten Sie einige Sekunden und schließen Sie den Empfänger wieder an.

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahme
Der Zeiger bewegt sich nicht, wenn die Maus bewegt wird.	➔ Windows oder andere Softwareprozesse deaktivieren die Maus unter Umständen zeitweilig. In diesem Fall warten Sie bitte, bis die Prozesse abgeschlossen sind, bevor Sie die Maus verwenden. ➔ Weitere nützliche Lösungsvorschläge finden Sie eventuell auch in der Bedienungsanleitung zum Computer. Schlagen Sie in der Dokumentation zu Ihrem Computer nach. • Die Batterien in der Maus sind erschöpft. ➔ Wenn sich die Maus nicht einschaltet, sobald Sie den Netzschalter ON/OFF auf ON stellen, tauschen Sie die Batterien aus. Nähere Erläuterungen finden Sie unter „Vorbereitungen“ (Seite 9). • Die Maus kommuniziert nicht mit dem Empfänger. ➔ Gehen Sie wie unter „Aktivieren der Kommunikation zwischen Tastatur bzw. Maus und Empfänger“ erläutert vor, um eine ordnungsgemäße Kommunikation sicherzustellen (Seite 12). ➔ In bestimmten Betriebsumgebungen ist die Reichweite unter Umständen kürzer, so dass ein normales Arbeiten nicht möglich ist. Stellen Sie sicher, dass sich der Empfänger mindestens 20 cm vom Computer, vom Bildschirm und von anderen elektronischen Geräten entfernt befindet. ➔ Wenn die Maus zu weit vom Empfänger entfernt ist, ist keine Kommunikation möglich. Verringern Sie den Abstand zwischen Maus und Empfänger. • Die Maus wird auf einer ungeeigneten Oberfläche verwendet. ➔ Wenn Sie die Maus auf einer spiegelnden Oberfläche, auf Glas, einer anderen glänzenden Oberfläche oder auf einer durchsichtigen bzw. stark gemusterten Oberfläche verwenden, erkennt der Sensor an der Unterseite der Maus die Mausbewegungen möglicherweise nicht richtig. Verwenden Sie in diesem Fall ein Mauspad.
Der automatische/ schnelle Bildlauf lässt sich durch Drücken des Rades nicht mehr auslösen.	• Die Anwendung unterstützt den automatischen/schnellen Bildlauf nicht. ➔ Diese Funktion steht nur bei Anwendungen zur Verfügung, von denen sie unterstützt wird.
Das Zoomen funktioniert nicht, wenn das Mausrad gedreht wird.	• Die Anwendung unterstützt die Zoomfunktion nicht. ➔ Diese Funktion steht nur bei Anwendungen zur Verfügung, von denen sie unterstützt wird. • Das Dokument wurde bis zur maximalen Vergrößerung gezoomt und die Bildlaufleiste erscheint. ➔ Verwenden Sie eine andere Methode als das Drehen des Mausrades, um zur Zoomfunktion zurückzuschalten, indem Sie die Anzeige verkleinern, bis die Bildlaufleiste ausgeblendet wird.

Bitte wenden

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahme
Bei Verwendung der Tastatur bzw. der Maus wird der Bildschirm dunkel oder der Computer wechselt in den Energiesparmodus.	• Der Computer wechselt bei Verwendung der Maus in den Energiesparmodus. ➔ Wenn Sie mit der Maus arbeiten, ändern Sie die Einstellung für die Energiesparfunktion so, dass der Computer nicht in den Energiesparmodus wechselt. Näheres dazu schlagen Sie bitte in der Dokumentation zu Ihrem Computer nach. ➔ Berühren Sie das Zeigegerät oder drücken Sie eine beliebige Taste, um vom Energiesparmodus wieder in den Normalbetrieb zurückzuschalten.
Der Computer schaltet aus dem Bereitschaftsmodus nicht zurück zum Normalbetrieb.	➔ Berühren Sie das Zeigegerät oder drücken Sie eine beliebige Taste auf der Tastatur, um den Bereitschaftsmodus zu beenden.
Der Mauszeiger bewegt sich nicht gleichmäßig über den Bildschirm.	➔ Die optische Maus funktioniert auf folgenden Oberflächen möglicherweise nicht richtig: • Durchsichtigen Oberflächen (Glas usw.) • Oberflächen, die Licht reflektieren (z. B. hochglanzlackierte Furniere oder Spiegel) • Oberflächen mit immer wiederkehrendem Muster, wie z. B. einem Raster (ähnlich wie bei gedruckten Fotos in Zeitschriften und Zeitungen) • Gestreiften Oberflächen oder anderen stark gemusterten Oberflächen mit hohem Kontrast Wenn sich der Mauszeiger nicht gleichmäßig über den Bildschirm bewegt, vergewissern Sie sich, dass Sie die Maus nicht auf einer der oben genannten Oberflächen verwenden.
Mit der Tastatur bzw. der Maus lässt sich kein Zurückschalten aus dem Energiesparmodus auslösen oder das Zurückschalten dauert sehr lange.	➔ Drücken Sie eine beliebige Taste oder die Taste POWER.
Beim Starten des Computers erscheint die Fehlermeldung, dass die Maus nicht angeschlossen ist.	➔ Wählen Sie die Option, mit der diese Meldung nicht erneut angezeigt wird, und klicken Sie auf „OK“.
Nach dem Zurückschalten aus dem Energiesparmodus bewegt sich die Maus nicht gleichmäßig.	➔ Trennen Sie das Empfängerkabel vom USB-Anschluss, warten Sie einige Sekunden und schließen Sie den Empfänger wieder an.
Nach dem Anschließen des Empfängers dauert es eine Zeit lang, bis Tastatur und Maus verwendet werden können.	➔ Wenn Windows, eine Anwendung oder ein anderes USB-Gerät zurzeit ausgelastet ist, dauert es möglicherweise eine Weile, bis der Empfänger erkannt wird.

Symptom	Ursache/Abhilfemaßnahme
Die Tastatur funktioniert nicht.	➔ Überprüfen Sie den Abstand zwischen Tastatur und Empfänger. Stellen Sie die Tastatur und den Empfänger innerhalb der in den technischen Daten genannten Kommunikationsreichweite auf. Wenn Sie die Geräte auf einem Metalltisch verwenden oder sich in der Nähe der Tastatur ein Metallgegenstand befindet, ist die Reichweite möglicherweise geringer. ➔ Stellen Sie sicher, dass Batterien in die Tastatur eingelegt sind. Legen Sie die Batterien polaritätsrichtig in die Tastatur ein und drücken Sie die Taste CONNECT am Empfänger. Drücken Sie dann innerhalb von 10 Sekunden die Taste CONNECT an der Tastatur. Stellen Sie sicher, dass sich die Tastatur nahe genug am Empfänger befindet (maximal 30 cm Abstand), wenn Sie die Taste drücken.
Das Zeigegerät funktioniert nicht.	➔ Der Schalter POINTING DEVICE ist auf OFF gestellt. Stellen Sie den Schalter auf ON. • Stellen Sie sicher, dass Batterien in die Tastatur eingelegt sind. ➔ Legen Sie neue Batterien polaritätsrichtig in die Tastatur ein und drücken Sie die Taste CONNECT am Empfänger. Drücken Sie dann innerhalb von 10 Sekunden die Taste CONNECT an der Tastatur. Stellen Sie sicher, dass sich die Tastatur nahe genug am Empfänger befindet (maximal 30 cm Abstand), wenn Sie die Taste drücken. • Überprüfen Sie, ob die Batterien zu schwach sind. ➔ Den Ladungszustand der Batterien können Sie an der Batterieanzeige oben rechts auf der Tastatur ablesen. Wenn die Batterien zu schwach sind, tauschen Sie sie wie unter „Einlegen von Batterien in die Tastatur“ (Seite 9) erläutert aus. • Überprüfen Sie, ob der Netzschalter POWER an der Tastatur auf ON gestellt ist. • Wenn mehrere Tastaturen des Typs VGP-WKB1 verwendet werden, kann es zu Funkstörungen kommen, so dass die Tastaturen nicht richtig funktionieren. ➔ Führen Sie in diesem Fall folgende Schritte aus. **1** Nehmen Sie die Batterien mindestens eine Minute lang aus der Tastatur. **2** Legen Sie die Batterien wieder in die Tastatur ein und drücken Sie die Taste CONNECT am Empfänger. **3** Drücken Sie dann innerhalb von 10 Sekunden die Taste CONNECT an der Tastatur. Stellen Sie sicher, dass sich die Tastatur nahe genug am Empfänger befindet (maximal 30 cm Abstand), wenn Sie die Taste drücken. Wenn mehrere Tastaturen des Typs VGP-WKB1 verwendet werden, richten Sie sie nacheinander ein. Werden mehrere Tastaturen des Typs VGP-WKB1 gleichzeitig eingerichtet, kann es zu Funkstörungen kommen. ➔ Das Zeigegerät reagiert auf Fingerdruck und der Zeiger wird entsprechend bewegt. Wenn der Zeiger zu langsam reagiert, drücken Sie fester auf das Zeigegerät.

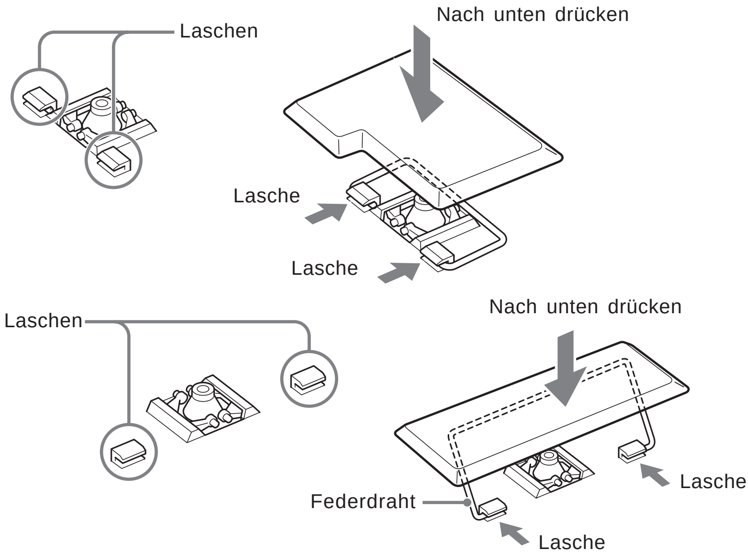
Bitte wenden

Wenn sich eine Taste von der Tastatur löst

Wenn sich die Eingabetaste, die Umschalttaste oder die Leertaste von der Tastatur löst, können Sie sie wie in den Abbildungen unten dargestellt wieder anbringen. Wenn sich eine andere Taste löst, drücken Sie die Taste an der richtigen Position nach unten, bis sie mit einem Klicken einrastet.

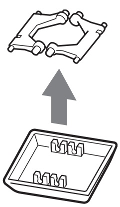
Anbringen von Eingabe-, Umschalt- und Leertaste

Nehmen Sie den Federdraht von der Taste ab und bringen Sie ihn an den Laschen an. Richten Sie die Taste aus und drücken Sie sie nach unten, bis sie mit einem Klicken einrastet.

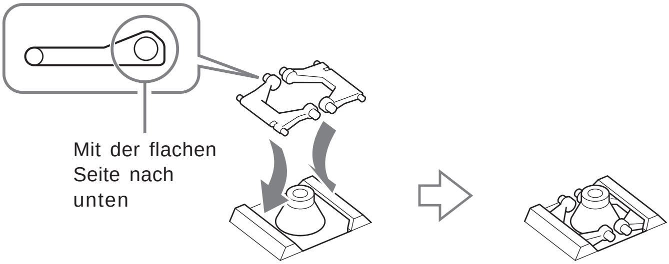


Wenn sich die Kunststofffeder zusammen mit der Taste gelöst hat, bringen Sie die Teile folgendermaßen wieder an:

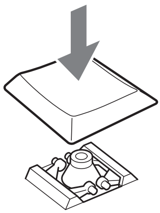
1 Nehmen Sie die Kunststofffeder von der Taste ab.



2 Legen Sie die Feder mit der flachen Seite nach unten an die richtige Position, prüfen Sie die Ausrichtung und bringen Sie sie dann wieder an der Tastatur an.



3 Bringen Sie die Taste an der ursprünglichen Position an und drücken Sie sie nach unten, bis sie mit einen Klicken einrastet.



Hinweise

- Nehmen Sie die Tasten nicht mutwillig ab. Andernfalls kann die Tastatur beschädigt werden.
- Üben Sie beim Anbringen der Tasten nicht zu viel Kraft aus. Andernfalls kann die Tastatur beschädigt werden. Behandeln Sie die Tastatur bitte pfleglich.

http://www.sony.net/

2-190-351-**01**(1)

Printed on 100% recycled paper using VOC (Volatile Organic Compound)-free vegetable oil based ink.